

平成8年度

沖縄県教育委員会・竹富町教育委員会指定体力づくり推進校

研究紀要

研究主題

自ら進んで運動に親しむ上原っ子の育成

—— 個を生かす学習指導の改善と工夫 ——

3年次（最終年次）

平成8年11月18日（月）

竹富町立上原小学校

沖縄県竹富町上原383番地

電話(09808) 5-6259

はじめに

21世紀を展望した我が国の教育の在り方として、第15期中央教育審議会は「いきる力」の育成を基本に位置づけています。そして、国際化、情報化、科学技術の発展などが一層進展し、益々変化の激しいなっていくであろうこれからの社会においては「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力」や「自ら律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力」が必要となることを強調しています。このため、これらの資質・能力（「いきる力」）は、学校、家庭、地域社会を通して育むことが、これからの教育に求められています。

激しく変化する21世紀の生涯学習社会へ向け、本校が、平成6・7・8年度の3年間「体力づくり推進校」として、沖縄県教育委員会、竹富町教育委員会の指定を受け、体力づくり研究に取り組むことが出来たことは、本当に幸せなことでした。

「体力づくり」といえばこれまでは早朝マラソン、業間体育等を取り入れた「体力づくり」そのものの研究が進められていました。しかし、生涯学習への移行とともに生涯スポーツに結びつけた体力づくりへと考え方が変わってきました。即ち、運動への愛好的態度を育てることによって、運動に親しみ、運動に親しむことによって運動能力が高まり、おのずと体力が培われていくとの考え方です。

従って、「日々の体育の授業を通して愛好的態度を育てることによって、休み時間や放課後あるいは地域社会において、自ら進んで運動やスポーツに親しむようになる。」との立場から、学校教育においては愛好的（運動を好きにさせる）態度を培うための授業改善が必要になってきます。テーマ設定理由にも記されているように、サブテーマに「個を生かす学習指導の改善・工夫」を取り上げたのもこのような考え方に基づいてのことです。

このような「新しい体育の考え方」のもと、本校では3年間、授業研究会を核にすえ、研究に取り組んできました。その成果として児童は、「体育の授業において、めあてを持ち、めあてに向かって自分を高めていこうとする態度が育ってきた。」、教師は、「個を生かす授業改善への意識が高まってきた。」等児童・教師ともに大きな意識改革がなされたことです。反面、数多くの課題も出てきました。今後、これまでの研究成果を如何に継続し、課題の解決を図っていくかが、本校の大きな課題といえましょう。

最後に、3年間の研究を進めるに当たって、研究の機会を与えてくださった沖縄県教育委員会、竹富町教育委員会をはじめ、多面にわたるご指導、ご助言をくださった八重山教育事務所・竹富町教育委員会の各指導主事、環境整備にご尽力くださったPTA、地域の方々、さらに研究発表会に足を運び、発表会を盛り上げてくださった各学校の先生方に厚くお礼申し上げるとともに、この3年間、真剣に研究に取り組んでこられた本校職員に感謝の意を表し、はじめのことばとします。

平成8年11月18日

校長 喜納和善

目次

はじめに

I 研究の概要

1	研究テーマ	1
2	テーマ設定の理由	1
3	研究の仮説	2
4	研究のねらい	2
5	研究の進め方	2
	(1) 研究の方針	2
	(2) 研究の内容	2
	(3) 研究の方法	2
	(4) 研究組織と運営	3
	① 組織図	3
	② 運営(各部の活動内容)	3
	(5) 研究の構想図	4
	(6) 研究計画	5
	① 3年間の研究計画の概要	5
	② 1年次の研究経過	6
	③ 2年次の研究経過	7
	④ 3年次の研究経過	8

II 新しい体育と体力づくり

1	体力づくりについての基本的な考え方	9
	(1) 新しい体育の考え方	9
	(2) 体力づくりの考え方	9
2	運動の特性と運動の分類	11
3	新しい体育の考え方における「学習過程」	11
	(1) スパイラル型	12
	(2) ステージ型	12
	(3) 運動領域における型の分類	13
4	単元計画の形式例	14

III 実践

1	授業実践	
	・マット運動(5年)	18
	・マット運動(4年)	24
	・鉄棒あそび(2年)	29
2	学習環境部	
	(1) 体育用具の一覧	34
	(2) 工夫した用具	36
3	調査研究部	
	(1) 児童の体位調査	37
	(2) ローレル指数で見る本校児童の肥満度	37
	(3) スポーツテストの集計結果	38
	(4) スポーツテストの調査結果に おける3年間の推移	40
	(5) 体育学習についてのアンケート	42
	(6) 一輪車に関するアンケート調査の結果	46
	(7) 授業前の実態調査	48
	(8) 授業前と後の器械運動についての アンケート	51

IV その他の体力づくり

1	体育朝会実施計画	53
2	一輪車活動	54
3	親子ドッジボール大会実施計画	56
4	校内持久走実施計画	58

V 研究の成果と課題

1	研究の成果	74
2	今後の課題	74

※ 資料編

1	年間計画	1
2	学習カード	7
	(1) ボール運動	7
	(2) 器械運動	13
	(3) 一輪車	20

I 研究の概要

1. 研究テーマ

自ら進んで運動に親しむ上原っ子の育成

— 個を生かす学習指導の改善と工夫 —

2. テーマ設定の理由

我が国においては、高齢化、高学歴化及び高度成長とともに時間的、経済的にゆとりが生まれ、価値観の多様化、余暇の楽しみ方の多様化等が生じてきた。これらのゆとりは運動を行なう上で素晴らしい条件、すばらしい環境といえよう。しかし、科学技術の発展による乗り物の発達、歩く機会の減少(省歩化)を招き、逆に運動不足をきたしている。

生涯スポーツへの移行が進みつつある今日、運動不足を解消し、自己の健康づくり、自己の体力づくりが国民的な課題としてクローズアップされるようになってきた。

こうした社会状況を踏まえて改定された新学習指導要領・体育科の目標には、「適切な運動の経験と身近な生活における健康・安全についての理解を通して、運動に親しめるとともに健康の増進と体力の向上を図り、楽しく明かるい生活を営む態度を育てる」と示されている。その主旨は、生涯スポーツの基礎を培うことと、体力の向上を図ることである。

「体力の向上」は適切な運動の経験を通して、調整力・筋力・持久力など調和の取れた体力を養い運動の基礎的な技能を身に付けることを目指している。従って、体力の向上を図るということは、その運動の持つ本質的な魅力(特性)に触れさせ、運動の楽しさを味わわせることによって積極的に学習に参加させ、運動を好きにさせること(運動への愛好的態度を育てること)を図るということである。運動を好きにさせることによって運動の継続的な実践につながったり、その結果として生涯スポーツへ結びついていくものと思われる。いふなれば「新しい体育の考え方」に立った体力づくりを推進するということである。

このような考え方に立って学習指導を展開すれば、児童は自ら運動に参加するようになり、この参加が愛好的態度を培うことになる。そして、生涯的な運動へ自主的、自発的に参加する姿勢へと変わっていく。即ち、運動への愛好的態度を培うことが運動技能を高め、運動技能を高めることによっておのずから体力が養われる。

それでは、愛好的態度を育てるための授業とは、どのような授業を指すのだろうか。本校では「これまでの授業を見直し、個に応じ、個を生かし、個をのばす学習指導の展開」を意味するのではないかとの共通認識を図った。そこで、本校の実態(授業改善の必要性、遊具の皆無、児童の体力、体育への興味関心等)を踏まえ、上記の理由から本テーマを設定した。

3. 研究の仮説

- (1) 個を生かす運動の場づくりや、学習指導の工夫をすれば運動の特性にふれ、運動の楽しさを味わい自ら体育学習に取り組むようになる。
- (2) 学習カードや資料を生かした学習の展開を図れば、自ら進んで体育学習へ取り組む態度の育成が図られる。

以上の2点の仮説をもとに、教科体育を中心として教育活動全般にわたり、計画的・継続的に研究を重ねていくことにより、自ら進んで運動に親しむ態度や能力が育ち体力が向上するであろう。

4. 研究のねらい

- (1) 自ら進んで運動に親しみ、運動への愛好的態度や能力を育成する。
- (2) 個を生かす場づくりや、学習指導の工夫を図る。
- (3) 生涯体育をめざした運動の生活化を図る。
- (4) 学校教育目標の具現化を図る。

5. 研究の進め方

(1) 研究の方針

- ① 研究会は全体会を中心にし、各部を通して研究を進めていく。
- ② 全職員の共通理解のもと、課題解決が図られるように研究を進める。
- ③ 全学年が授業研究を実践し、学習指導の充実が図られるようにする。
- ④ 研究発表会は、2こ学年公開授業を行ない1年間の研究の成果を発表する。
- ⑤ 毎月第1、3、5水曜日を校内研修日とし、研究を進める。
- ⑥ 地域、父母との連携を深め、体力の向上及び健康の保持・増進に関する啓蒙を図る。

(2) 研究の内容

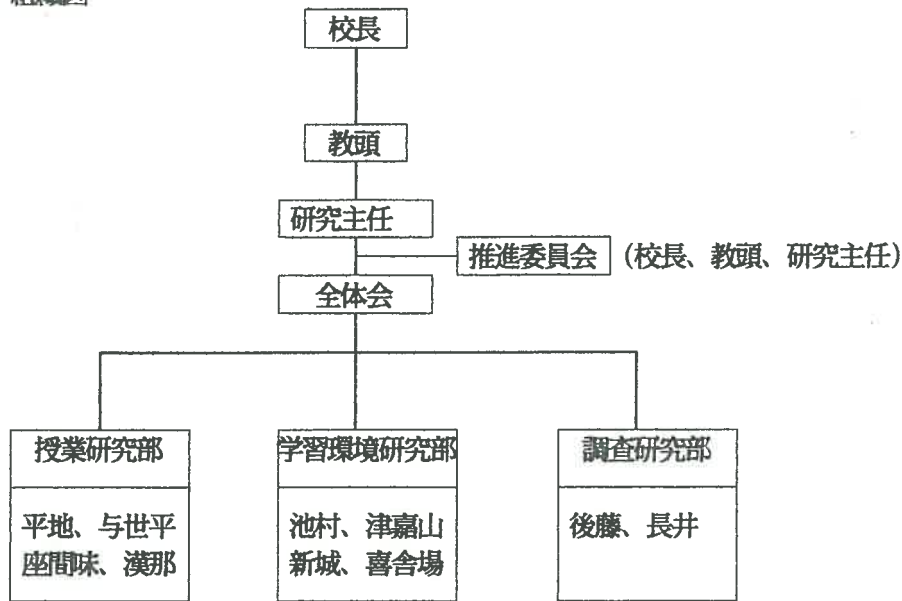
- ① 理論研究（体力づくりの考え方、新しい体育の考え方・進め方について）
- ② 授業実践による研究。
- ③ 簡易教具・学習カード・学習資料の研究と作成。
- ④ 体力づくり環境の整備。
- ⑤ 児童の実態把握と分析。

(3) 研究の方法

- ① 文献、資料による理論研究をする。
- ② 授業実践を通じた研究をする。
- ③ 調査を実施をする。
- ④ 指導主事を招請し研究を深める。
- ⑤ 実技研修をする。

(4) 研究組織と運営

① 組織図

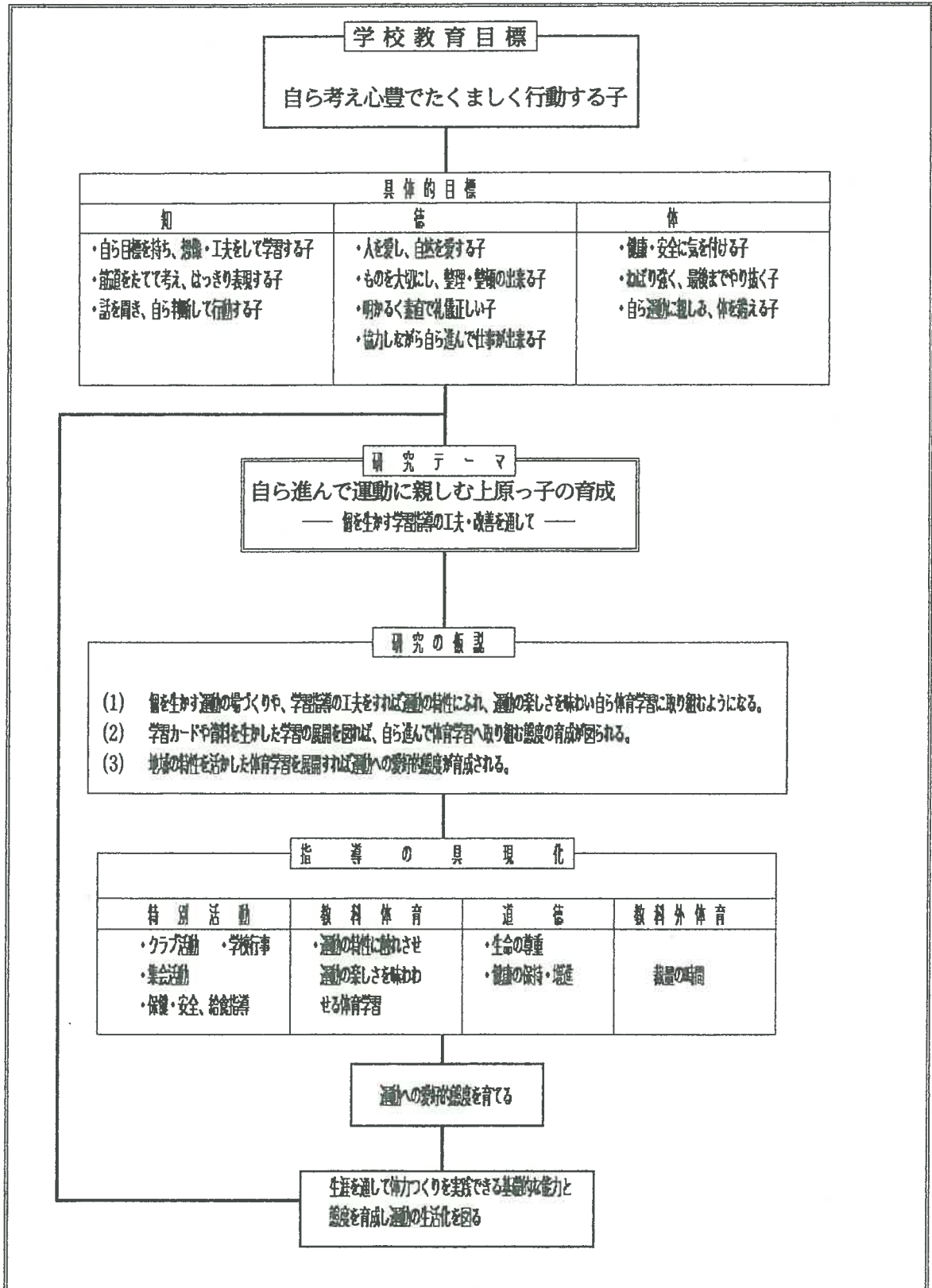


② 運営

各部の活動内容

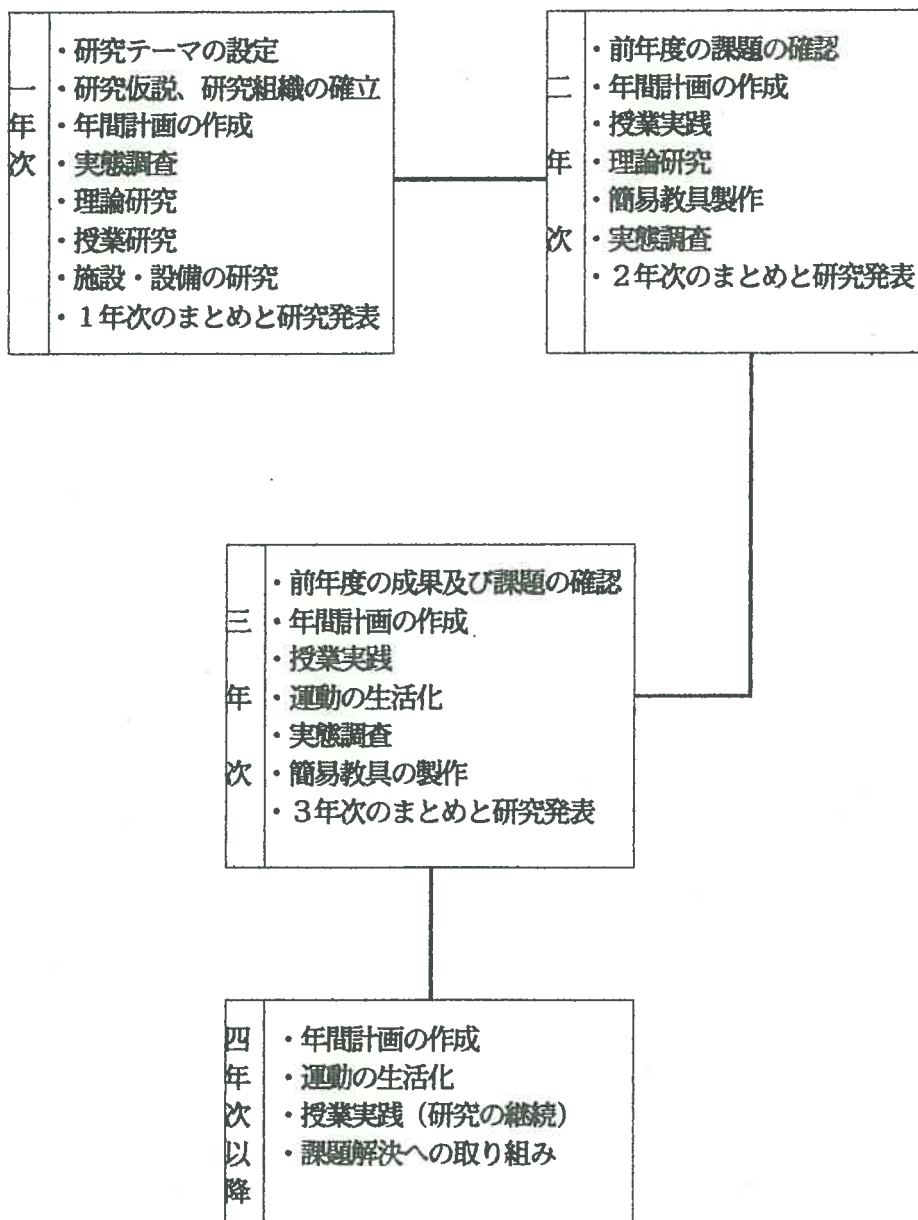
部会名	ねらい	氏名	活動内容
推進委員会	・研究計画の立案をし、効果的な研究の推進	校長 教頭 漢那	・各部会との連絡調整 ・研究の全体計画の立案 ・授業研究の世話 ・研究紀要のまとめ
授業研究部	・個を生かす学習指導法についての研究をする	平地 与世平 漢那 座間味	・体力と運動について。 ・年間計画、指導案について ・授業研究の実践について ・特別活動における活動計画について ・学習資料・学習ノートの作成 ・評価について
学習環境研究部	・効果的な用具の活用及び簡易教具の研究	池村 津嘉山 新城 喜舎場	・施設・用具の効果的利用や設置について ・簡易教具作成 ・児童の実態調査と分析 ・地域へのアンケート調査 ・年間計画をたてる
調査研究部	・各種の調査を行ない、実態を把握しながら体力づくりを推進する資料を作成する	長井 後藤	・児童の実態調査をする。 ・スポーツテストの集計をする。

(5) 研究の構想図



(6) 研究計画

① 3年間の研究計画の概要



② 1年次の研究経過

月日	曜	持ち方	研修内容	場所	備考
4月20日	水	全体会	・研究テーマ設定について ・サブテーマを決定	職員室	
6月1日	水	全体会	・「新しい体育」の考え方について ・体育実技講習会(講師 座間味 靖)	体育館	
6月16日	木	全体会	・理論研究「体力づくりの進め方」 ・児童の実態調査(運動能力テスト)について	職員室	
6月22日	水	全体会	・単元計画の作成と指導案の立て方	職員室	
7月6日	水	全体会	・理論研究「新しい体育」の考え方	職員室	
7月11日	月	全体会	・理論研究「新しい体育」の考え方 志喜屋指導主事訪問	図書室	主事招請
9月12日	月	全体会	・「新しい体育の授業の進め方」について ビデオ学習会	理科室	
10月5日	水	部会	・理論研究 新しい学力観に立った体育 学習	職員室	
10月19日	水	全体会	・「新しい体育」の学習過程について	職員室	
10月24日	月	全体会	・6年研究授業について 指導案検討会	職員室	
10月31日	月	全体会	・6年研究授業(跳び箱) ・授業研究会 島袋憲一学校教育課長 志喜屋指導主事訪問	体育館	主事招請
11月2日	水	全体会	・研究紀要のまとめ方について	職員室	
11月14日	月	各部	・報告書原稿作成		
11月16日	水	各部	・報告書原稿の作成 ・各部の資料作成		
11月21日	月	全体会	・報告書原稿製本(印刷所へ)		
11月28日	月	全体会	・研究発表会の役割分担について ・公開授業指導案検討(6年、3年)	職員室	
11月30日	水	全体会	・報告書読み合わせ	職員室	
12月2日	金	全体会	・公開授業及び研究発表会	体育館 運動場	主事招請
1月 ～ 3月		各部	・1年次研究の反省会 ・次年度へ向けて資料収集		

③ 2年次の研究経過

月 日	曜	持ち方	研 修 内 容	場 所	備 考
4月12日	水	全体会	・研究テーマ設定について ・研究仮説、組織、方針等	図書室	
4月19日	水	全体会	・研究授業の内容、学年の決定 ・設定理由から仮説のとらえ方について	職員室	
5月24日	水	全体会	・5年指導案検討会 ・場の設定について	職員室	
5月31日	水	全体会	・5年研究授業 ・授業研究会（技能の高まりについて）	図書室	主事招請
6月7日	水	全体会	・体育年間指導計画の作成について ・作成の手順について	職員室	
6月21日	水	全体会	・1年指導案検討会 ・年間指導計画について	職員室	
6月29日	水	全体会	・1年研究授業 ・授業研究会（自己評価について）	図書室	主事招請
7月5日	水	部 会	・各部の資料集め ・各部の活動（各種の調査）	職員室	
9月6日	水	全体会	・2年指導案検討 ・アンケート調査について	職員室	
9月20日	水	全体会	・2年研究授業 ・授業研究会（個人差について）	図書室	主事招請
10月4日	水	各 自	・船浦中学校研究発表会参加 （学校体育）	船浦中	
10月6日	金	全体会	・4年指導案検討 ・学習カードについて	職員室	
10月18日	水	全体会	・4年研究授業 ・授業研究会 （体育の基礎・基本の考え方について）	図書室	主事招請
11月1日	水	全体会	・報告書原稿の作成について ・各部の資料作成	職員室	
11月13日	月	部 会	・報告書原稿作成 ・原稿複製本	職員室	
11月15日	水	全体会	・報告書原稿読み合わせ ・原稿修正	職員室	
11月17日	金	部 会	・原稿修正 ・印刷所へ（11月20日）	職員室	
11月22日	水	全体会	・公開指導案検討会（6年、3年） ・資料作成	職員室	
11月29日	水	全体会	・研究発表会の役割分担について ・発表打ち合わせ	職員室	
12月5日	火	全体会	・公開授業および研究発表会	運動場	主事招請
1月 } 3月		各 部	・2年次研究の反省会 ・最終年次へ向けて資料収集		

④ 3年次の研究経過

月日	曜	持ち方	研修内容	場所	備考
4月10日	水	全体会	・校内研の計画について ・体育年間指導計画について	職員室	
4月24日	水	全体会	・児童の実態調査について ・研究の進め方について	職員室	
5月1日	水	全体会	・5年指導案作成・検討会 ・各部の研究年間計画の作成について	職員室	
5月22日	水	全体会	・5年研究授業 ・授業研究会	図書室	
6月12日	水	部会	・4年指導案作成について ・学習カードの作成について	職員室	
6月19日	水	全体会	・4年研究授業 ・授業研究会	職員室	主事招請
7月3日	水	部会	・児童の実態調査の集計 ・授業研究会（自己評価について）		
7月10日	水	部会	・各部の資料集め ・各部の活動（各種の調査）		
9月4日	水	部会 全体会	・各部の資料集め アンケート調査について ・1年指導案検討	職員室	
9月18日	水	全体会	・1年研究授業 ・授業研究会	図書室	
10月2日	水	各自	・船浦中学校研究発表会参加 （学校体育）	船浦中	
10月23日	水	部会	・報告書原稿作成について	職員室	
10月18日	水	部会	・各部の資料作成	図書室	
11月1日	火	部会	・報告書原稿の作成 ・原稿複製本	職員室	
11月5日	月	全体会	・報告書原稿読み合わせ ・原稿修正	職員室	
11月6日	水	部会	・原稿修正 ・印刷所へ（11月6日）	職員室	
11月12日	火	全体会	・公開指導案検討会（6年、3年） ・資料作成	職員室	
11月14日	木	全体会	・研究発表会の役割分担について ・発表打ち合わせ	職員室	
11月18日	月	全体会	・公開授業および研究発表会	運動場	主事招請

Ⅱ 新しい体育と 体力づくり

1. 体力づくりについての基本的な考え方

(1) 新しい体育の考え方

「新しい体育」とは、運動そのものが持つ楽しさや喜びを味わい、自ら積極的に行なう運動を指した「運動の教育」である。

この「運動の教育」は生涯スポーツの一環として、子供が自ら学び、個に応じた運動に親しむことができるように子供と運動とのかかわりを学ばせ、運動が内包している独特の楽しさや喜びを体験的にわからせようという考えに立つものである。つまり、自主・選択を学習様式の基本的な型と考え、「めあて－学習－評価」のそれぞれが学習者の意志を反映した選択によって進める学習である。

そこで、体力づくりを進めて行くにあたっては体育の授業を中心に考え、上記のような考えを基に、低学年では、運動を楽しくできるようにする。中学年においては、運動を楽しく学習する中で簡単な技能を身に付けることができるようにする。高学年においては、各種の運動のよさがわかり、進んで技能を身に付けることができるようにする。

すなわち、小学校期においては運動を楽しく行なうことができるように学習指導を工夫・改善することが大切である。このように「新しい体育」における学習指導の考え方は、運動を楽しく行なうことにより、運動を継続的、積極的に実践していくその結果として、体力の向上が図られるのである。

(2) 体力づくりの考え方

① 子供の捉らえ方

- ・ 子供はそれぞれ異なった個性をもっている。
- ・ 子供はそれぞれ発達段階が異なっている。
- ・ 子供は好奇心に富み、自分の体で体験しようとする。
- ・ 子供は好ましい環境で学習する時は、よく学び、よく覚える。
- ・ 子供は自ら主体的に取り組んだとき、その目標を早く達成する。

この捉らえ方は、どの教科にもあてはまるものと考えられ、もちろん体育科においてもそうである。今回の指導要領の改定に伴って、従来の体育の考え方が大きく変わり、新しい学力観の考え方をもとに、個を重視した授業の展開が求められている。そこで、上記のように子供を捉らえ体力づくりを進めていくことにした。

② 指導要領の改定から

そこで今回の学習指導要領の改定に伴って学習指導の基本方針は生涯体育を目指した方向を考え、一人一人を伸ばす指導の工夫が求められているのである。その考えを図で表わすと次のようになる。

学校教育における4つのねらい

- ・豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成を図ること。
- ・自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を重視する。
- ・国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視し、個を生かす教育の充実を図ること。
- ・国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視すること。

体育科の目標

適切な運動の経験と身近な生活における健康・安全についての理解を通して、運動に親しませるとともに健康の増進と体力の向上を図り、楽しく明かるい生活を営む態度を育てる。

適切な運動の経験
児童の発達の特性に合った
運動の実践

運動に親しませる
運動の楽しさや喜びを十分に味わわせ、自ら実践するようにする。

運動の楽しさや喜びを
味わう。

新学力観に沿った新しい体育の考え方
自分の課題の解決に向けて考えたり、判断したりしてそれぞれの運動固有の楽しさや喜びを味わうことができる。

すべての子供に運動の特性にふれる楽しさを味わわせ、自発的・自主的に運動に取り組むことのできる力を育て、一人ひとりを大切に、それぞれの子供の興味・関心、現有的力量に見合った学習目標を持たせ、学習に向かわせようとする。

(小学校)
運動を楽しく
行なう。

	新しい体育の考え方の授業展開
低学年	・ 運動が楽しくできるようにする。
中学年	・ 運動を楽しく学習する中で、簡単な技能を身につけさせる。
高学年	・ 各種の運動のよさがわかり、進んで技能を身につけることができるようにする。

学習カードの工夫
器具、用具の効果的
活用

教科外体力づくり
・ 一輪車活動
・ 体育朝会
・ 校内マラソン

(中学校) 選択制体育学習への移行

(高等学校) ある種目の専門化を図る

健康の増進・体力の向上は、即時的な効果を求めるのではなく
運動を適切に、しかも継続的に実践できるようにする。

体力の向上及び生涯体育

2. 運動の特性と運動の分類

(1) 運動の特性（一般的特性）

① 機能的特性

子供にとって、その運動がどんな魅力を持ち、どのような欲求を充足してくれるか。一般的には競技スポーツのレベルで考えるが、教育の場ではその運動の持つ喜びや楽しみ方を言う。この特性は次の3つに分けて考えることができる。

○ 競走型 ○ 克服型 ○ 達成型

② 構造的特性

その運動が持つ技能や仕組みはどうなっているのか。例えば、跳び箱を例に考えると助走—踏切—着手—着地の一連の動作などである。

③ 効果的的特性

その運動を行なうことによってどのような効果があるか。

(2) 運動の分類

運動は、その機能的特性によって次のように分類することができる。

	機能的特性	内 容	種 目
挑戦の 欲求に 基づく もの スポーツ	競走型	他人に挑戦し、勝ち負けを競い合うことが楽しい運動 (個人対個人、集団対集団)	球技、水泳 陸上
	克服型	自然や人工的に作られた物的障害へ挑戦し、それを克服することが楽しい運動。	器械、水泳
	達成型	記録やフォームなどの観念的に定めた基準に挑戦し、それを達成することが楽しい運動。	陸上、水泳 器械
模倣・ 変身の 欲求に 基づく もの ダンス型	創作型	感情や考えていることを動きで表わすことが 楽しい運動	表現
	リズム型	踊り方を覚えてリズムにあわせて踊ることが 楽しい運動。	ダンス
	社交型	構成されているリズムカルな動きで変身し、相手と 対応し踊ることが楽しい運動。	フォークダンス

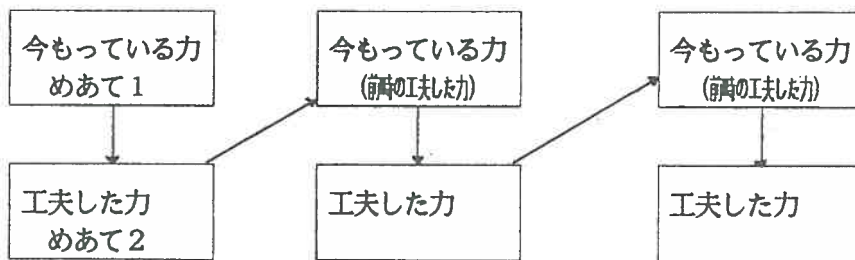
3. 新しい体育の考え方における「学習過程」

「新しい体育」における学習過程とは、学習のねらいを達成するため個人差を配慮しながら、運動に内在する機能的特性を求めた学習になる。

「やさしい運動」とは、それぞれの能力に応じて現在楽しく行なえるレベルのものであり「工夫した運動」とは自発的な創意・工夫、努力によって高まった能力のレベルに対応する挑戦のレベルにあるもので、次のように発展させる。また、学習のどの段階でもその運動の持つ特性に触れさせるようにする。このような学習過程は次の2つの型に分けられる。

(1) スパイラル型 (器械運動、陸上運動、体操、水泳)

単元の流れ		1 時間
1 時間の学習活動		10 時間
0	めあて1 ◇自分の力にあつためあてを決める。 ◇今できる技に挑戦する ◇できばえを確かめる。	めあて1 今できる技で運動を楽しむ。
	めあて2 ◇少し頑張ればできそうなめあてを決める。	めあて2 頑張ればできそうな技に挑戦する。
45 分	◇やさしい場から挑戦する。 ◇できばえを確かめる。	



このように1時間の学習を **今持っている力** → **工夫した力** を繰り返し展開しながら進めて行く学習をスパイラル型学習という。(器械運動、陸上運動、水泳)

(2) ステージ型 (ボール運動、陸上運動、)

時間	1 ~ 3 時間	4 ~ 7 時間	8 ~ 12時間
分			
0	ねらい1 簡単なルールを決め、自分や相手チームの力を知る	ねらい2 ルールや場を工夫し、対抗戦をする。	ねらい3とまとめ これまでの技能を生かし、ルールや場を工夫してリーグ戦をする。
45 分	◇ リーグ戦	◇ 対 抗 戦	◇ リーグ戦

このような学習は、1単元を10時間前後で計画し、1つのまとまりをもったステージ **ねらい1** → **ねらい2** → **ねらい3** とし、技能の高まりとともに連続的に学習して行く学習課程をステージ型という。この学習課程は主に、ボール運動、陸上運動で行なわれる。

(3) 運動領域における型の分類

① 器械運動（スパイラル型）

運動の特性

今できる技をさらに上手にできるようにしたり、もう少し頑張ればできそうな技に挑戦し、できるようになることを楽しむ運動である。

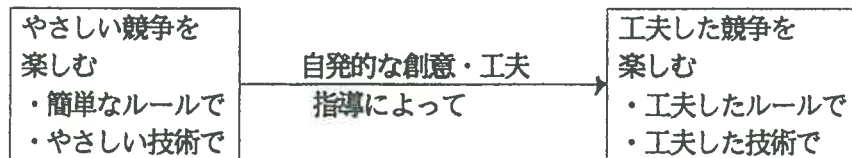


(マット運動 跳び箱運動 鉄棒運動)

② ボール運動（ステージ型）

運動の特性

ボールを扱いながら作戦を工夫して、集団対集団で得点を競い合うことを楽しむ運動である

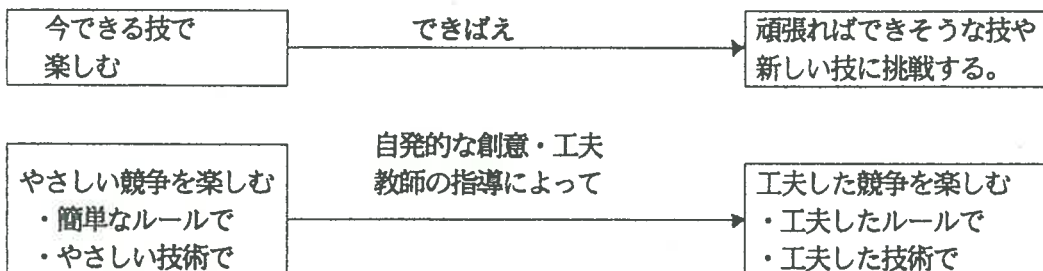


(ドッジボール、ポートボール、ラインサッカー、バスケットボール等)

③ 陸上運動（スパイラル・ステージ混合型）

運動の特性

自分の記録に挑戦したり、友達と競争（走）したりすることを楽しむ運動である。



(障害走、走り高跳び、走り巾跳び、短距離走、リレー)

このように「新しい体育」の学習過程は「今の力を十分に生かして、特性を求める学習」から「創意・工夫、努力を加えて特性を求める学習」の段階へと十分時間をかけて進めることになる。「できることで十分特性に触れ」そこで培われた力や新しく身に付いた力を使って「出来そうなことに挑戦し、更に特性に触れる」という学習の流れである。

その流れに添って各単元の学習課程を計画し、実施していくには次のような考えを取り入れた。

4. 単元計画の形式例

1. 単元名

2. 運動の特性……種目の欲求あるいは必要を充足する機能を中心にとらえ、行う者にとっての目の意味と価値、基礎的な行い方を明らかにし、具体的な学習のねらいと内容・経験を導き出す手がかりにする。

① 一般的特性…… 行う者にとっての種目の一般的な魅力（機能的特性）を中心に特性と基礎的な特性の求め方、触れ方を明らかにする。

② 子供から見…… 意欲や能力、経験等に個人差のある児童の実態を踏まえて、学習する児童にとって、どこが楽しく（魅力）、どんな楽しみ方ができる運動か等を明らかにする。

3. 授業に対する

基本的な考え… 運動の特性や児童の実態を踏まえて、指導者がこの種目に対してどのように捉え、どのように授業を進めていこうとしているのかを明らかにする。

4. 学習のねらいと…… 運動の特性を踏まえて、どの児童も特性を求められるねらいと、特性に触れながら、学習が進展する流れを示す。

① 学習のねらい… すべての児童が、何を求め、何を考え工夫してどんな活動をすれば良いかを示す。

② 学習の道筋…… ねらいを分けし、自発的・自主的な学習が深まり、広がる段階を示す。

ねらい1（めあて1）…… 今の力を十分に発揮して、特性に触れられるねらいを示す。

ねらい2（めあて2）…… 高まった力で工夫を加えたり、新しい課題に挑戦するねらいを示す。

5. 時間配分と…… 各段階に時間の配分を予定し必要な施設・用具を示す。

6. 場づくり・施設用具

7. 学習と指導…… 学習のねらいと道筋を具体的な活動の展開に予定し、示す。

指導案(例)

は じ め ○ 分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいと道筋を知らせる。 ○学習の進め方がわかる。 ○グループや活動の場を知る。 ○学習の決まりや約束を作る。 ○何をねらいとし、どんな運動を誰と、どこで行うかがわかる。 ○学習カードの使い方を知る。 	
	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
な か 1 ○ 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">めあて 1</div> <p>めあて1の活動 例 (跳び箱)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">今できる技で楽しむ。</div> <p>めあて例 ○開脚跳びの3段をする。 ○台上前転の6段をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習を進めていく上で指導すべき点や観察する点など ○力に応じためあてか。 ○自発的・自主的な活動ができるめあてか。 ○仲良く協力しているか。 ○学習を進めていく上で指導すべき点や観察する点など
な か 2 ○ 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">めあて 2</div> <p>めあて2の活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">頑張ればできそうな技や上手になりたい技に挑戦する</div> <p>めあて例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○力に応じためあてか。 ○めあて1を元にしためあてになっているか。 ○仲良く協力しているか ○どこで助言を必要としているか。
ま と め ○ 分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の反省と記録、学習カードの整理。 ○楽しかったこと、改めたいことを次のめあてにできるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてから学習を反省させる。 ○共通の問題や課題も考えさせる。

Ⅲ 実 践

1. 授業研究部

研究授業における授業の視点

(器 械 運 動)

○年○組

平○成○年○月○日

授業者 ○ ○ ○ ○

研究の仮説

仮説 1

個を生かす運動の場づくりや、学習指導の工夫をすれば運動の特性にふれ、運動の楽しさを味わい自ら体育学習に取り組むようになる。

視点

○ どの子も積極的に参加し、個を生かす工夫がされているか。

○ 場の工夫

(器具や用具の設置場所、数量、配置等)

○ 用具の工夫

(めあて1、めあて2が達成できるような個人差を配慮した工夫になっているか)

○ 学習過程の進め方

(児童のめあての確認、発表、めあての練習の進め方。)

○ 各係りの仕事や準備、かたづけはどうか。

仮説2

学習カードや資料を生かした学習の展開を図れば、自ら進んで体育学習へ取り組む態度の育成が図られる。

視点

- 学習カードの作成のポイントは何か。

(児童にとって分かりやすいか。また、使いやすいか)

.....

.....

.....

- 学習資料をどの場面でどのように活用しているか。

(児童はどの場面で活用しているか。また、教師はどの場面で利用させているか)

.....

.....

- 教師はどのように子供の援助にかかわっているか。

(教師の位置、助言、資料の説明、活動の援助等)

.....

.....

.....

- 児童の自己評価はどうか。

(学習カードの記入方法や内容)

.....

.....

.....

.....

体育科学習指導案

平成8年5月15日(木)
上原小学校 5年
男子3名 女子7名 計10名
指導者 池村久美

1. 単元名 マット運動

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

マット上で体を丸くして回ったり、ダイナミックな回り方に挑戦したりして、単独の回り方、その連続、複数の回り方の組み合わせなどを行うところに楽しさがある。

(2) 子供から見た特性

- ・複数の回り方を身につけ、それらを連続させて行なうと楽しい。
- ・ダイナミックな回り方ができると楽しい。
- ・失敗すると恥ずかしい。
- ・失敗すると痛い。
- ・新しい技への挑戦が怖い。

3. マット運動に関する基本的な考え方

日頃、子供達は昼休みなどを利用してボール遊びや、一輪車などをみんなで楽しんでいる。しかし、器械運動に対しては好んで遊ぶ子が少ない。事前アンケートによれば、器械運動が「好き」という子は多くなかった。更にマット運動について聞いてみると「好き」という子が2人、残りの8人は「きらい」と答えている。その理由は、「できないから」が多く6人、「ケガをしたことがあるから」が2人であった。また、「どうすれば好きになれるか」の問いには全員が「できるようになれば」と答えている。

そこで、踏切板や跳び箱などのマットを組み合わせる工夫したり、お互いに励ましあったり、教えあったりしながら少しでもできる技を増やして楽しく学習が進められるようにしたい。

4. 学習のねらいと道筋

(1) 学習のねらい

できる技の連続や、組み合わせに挑戦したり、新しい技に挑戦したりして楽しむ運動である。

(2) 学習の道筋

毎時「めあて1」を十分に行なってから「めあて2」へ進む。「めあて2」でできるようになった技は、次時からは「めあて1」に入れ活動する。「めあて2」では新しい技へ挑戦する。

めあて1 → できる技をより美しく見せ、また、連続技や組み合わせに挑戦する。

めあて2 → できるようになりたい技に挑戦する。

5. 時間配分

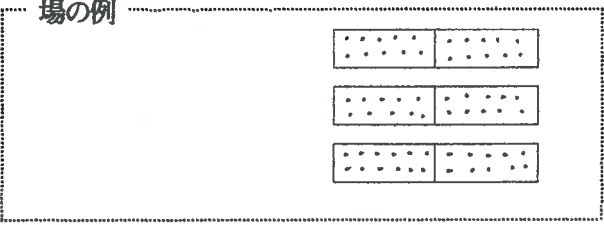
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	はじめ	技の確認	めあて1						発表会
20			めあて2						
30									
40			自己評価						

6. 場づくりの施設・用具

- ・ マット7枚
- ・ 踏切板3台
- ・ 跳び箱3台
- ・ 旗立て台2個 ゴム
- ・ セフティマット2枚

これらを組み合わせて場を工夫する。

7. 学習の指導と展開

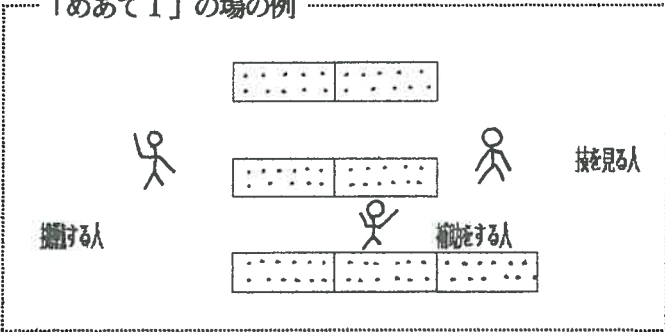
	学 習 活 動	指 導
はじめ 45分	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習のねらいを理解し、学習の進め方について見通しを持つ。 2 学習のきまりや安全について知る。 3 学習カード、チェックカードの使い方を知る。 4 グルーピングと役割分担をする。 5 用具の準備、あと片付けの仕方について知る。 6 学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを持った学習ができるように、学習カード等の使い方を知らせる。 ・学習の進め方を知らせる。
技 の 確 認 45分	<ol style="list-style-type: none"> 1 準備運動をする。 2 活動の場をつくる。 場の例  3 自分が今できる単発の技、連続の技をチェックし、カードに記入する。 4 次時のめあてを決める 5 学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで協力して活動の場がつけられるように指導する。 ・各自の技のチェックカードに今できる技のできばえを見てもらいチェックする。

1 準備運動をする。

めあて1 できる技をより美しく見せ、また、連続技や組み合わせに挑戦する。

2 グループごとにマットを2~3枚つなぎ「めあて1」の場づくりをする。

「めあて1」の場の例



3 各自のめあてを確認する。

めあて例

- A君 後転が連続でできるようにする。
- Bさん 首倒立がきれいにできる。
- C君 倒立前転を上手にする。

4 各自、自分のめあてに挑戦する。

- ・ 順番を守って、安全に気をつけながら行なう。
- ・ 同じグループの人同士教えあう。
- ・ できばえを確かめてもらう。

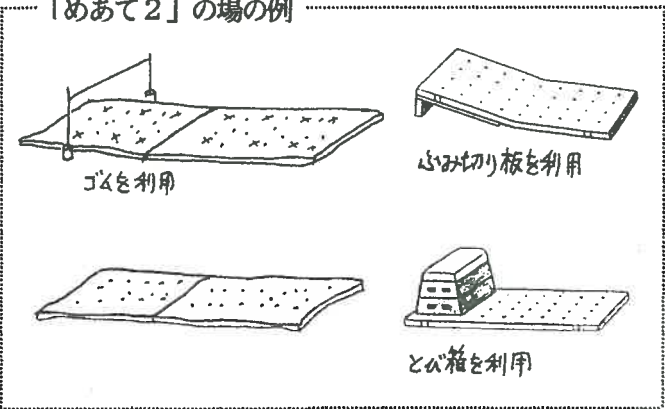
5 「めあて2」へ移る。

めあて2 できるようになりたい技に挑戦する。

6 各グループで役割分担し、「めあて2」の場づくりをする。

- ・ マットや跳び箱、踏切板を利用して場の工夫をする。

「めあて2」の場の例



・ みんなで学習のめあてを確認する

・ 安全確認の視点を持たせながら、みんなで協力して場づくりができるように必要に応じて助言する

・ めあての数だけ場がつけられるようにする。

・ 今、自分の持っている力にあつためあてか確認し必要に応じて助言する。

・ 自分が今持っている力にあつた技を観察し、必要に応じてめあてを変えたりするように助言する。

・ 「めあて1」を十分に行なってから「めあて2」へ進むよう助言する。

・ 安全確認の視点を持たせながら、みんなで協力して場づくりができるように必要に応じて助言する。

・ スペースを広く取るようにさせる。

な か 45 × 6	<p>7 各自のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて例 A君 …… 開却後転ができるようにする。 Bさん …… 倒立前転ができるようにする。 C君 …… 倒立前転と後転の連続技をする。 </div> <p>8 各自、自分のめあてに挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じマットの人と順番を守って、安全に気をつけながら練習する。 ・できばえを確認する。 ・「めあて2」が達成できたら、次の時間からは「めあて1」に入れる。 <p>9 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード、チェックカードに今日の学習のまとめを記録し、次時のめあてを立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今、自分の持っている力にあっためあてか確認し必要に応じて助言する。 ・自分の力にあった技か観察し、必要に応じて助言する。
発表 会 と ま と め 45 分	<p>1 発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになった技を組み合わせて、連続技を3つくらい発表する。 <p>2 学習のまとめをする。</p> <p>学習カードやチェックカードの記録をもとにまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったこと。 ・力にあっためあてをたて、場が選べたか。 ・学習カードやチェックカードが活用できたか。 ・みんなと協力できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の技を見て、良いところを見つけさせる。 ・これまでの学習の記録をもとに反省をさせる。

8. 評価

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10		診 断 的 評 価							発 表 会
20									
30									
40									

- ・マット運動のどんなところが楽しいかがわかり、力いっぱいめあてに挑戦したか。
- ・自分の力にあっためあてを選ぶことができたか。
- ・安全に気をつけて活動できたか。
- ・めあてが達成できるように、練習の工夫をしていたか。
- ・みんなと協力して活動ができたか。
- ・どんな技ができるようになったか。

9. 本時の学習と指導の展開 (5/9)

平成8年5月15日(木)
 上原小学校 5年
 男子3名 女子7名 計10名
 指導者 池村久美

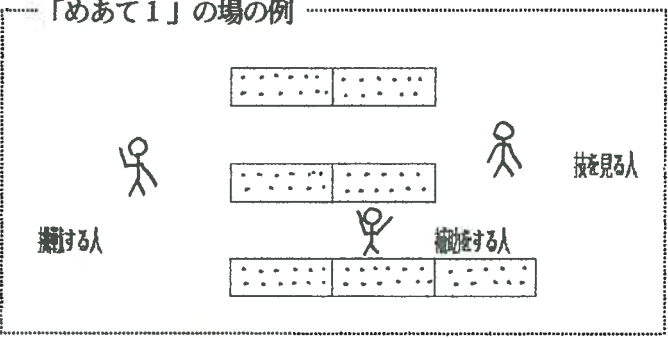
(1) 本時のねらい

今できる技で、連続、組み合わせを考えてマット運動をしたり、できるようになりたい技に挑戦したりする。

(2) 施設・用具

- ・学習カード、チェックカード
- ・踏切板3台
- ・セフティマット2枚
- ・マット7枚
- ・跳び箱3台
- ・旗立て台2個
- ・ゴム
- ・ゴムを張ったマット1枚

(3) 展開

	学 習 活 動	指 導
はじめ 10分	1 準備運動をする。 2 学習のきまりや安全に気をつける事を確認する。	・体が十分ほぐれるように気をつけさせる。 ・安全面を確認させる。
なか 30分	3 学習のねらいを確認する めあて1 できる技をより美しく見せ、また、連続技や組み合わせに挑戦する。 4 グループごとにマットを2~3枚つなぎ「めあて1」の場づくりをする。 「めあて1」の場の例  3 各自のめあてを確認する。 めあて1の例 A君 開却前転で、つまさきを伸ばして回る。 B君 側転、ジャンプ向き代え、後転を連続してする。 Cさん 開却後転を連続して回る。	・安全確認の視点を持たせながら、みんなで協力して場づくりができるように必要に応じて助言する。 ・今、自分の持っている力にあつためあてか確認し必要に応じて助言する。

な
か

- 4 各自、自分の「めあて1」に挑戦する。
- ・順番を守って、安全に気をつけながら行なう。
 - ・同じグループの人同士教えあう。
 - ・できばえを確かめてもらう。
 - ・めあてに挑戦する者、安全を確認する者、技のできばえを見る者を交代しながら行なう。

- ・今、自分の持っている力にあつためあてか確認し必要に応じて助言する。

30
分

5 「めあて2」へ移る。

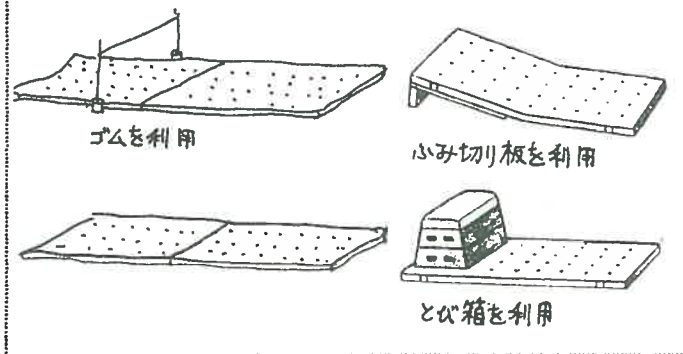
めあて2 できるようになりたい技に挑戦する。

- ・「めあて1」を十分に行なってから「めあて2」へ進むよう助言する。
- ・安全確認の視点を持たせながら、みんなで協力して場づくりができるように必要に応じて助言する。

6 各グループで役割分担し、「めあて2」の場づくりをする。

- ・マットや跳び箱、踏切板を利用して場の工夫をする。

「めあて2」の場の例



めあて2の例

- A君 開却後転に挑戦する。
- B君 倒立前転に挑戦する。
- Cさん とび前転に挑戦する。

- ・今、自分の持っている力にあつためあてか確認し必要に応じて助言する。

- 7 各自「めあて2」に挑戦する。
- ・グループを離れて、技の練習に適した工夫したマットで練習する。
 - ・同じ場の人はお互いに教えあう。
 - ・易しいものから難しいものへと練習をする。
 - ・上手いかないときは、1つ前の場へ戻る。
 - ・「めあて2」が達成できたら次時から「めあて1」へ入れる。

- ・いきずまっている児童には助成する。

ま
と
め
5
分

- 8 学習のまとめをする。
- ・めあてが達成できたか。
 - ・安全に気をつけ、楽しく活動できたか。
 - ・みんなと協力できたか。
 - ・次時のめあてを決める。

(4) 評価

- ・マット運動のどんなところが楽しいかがわかり、力いっぱいめあてに挑戦したか。
- ・自分の力にあつためあてを選ぶことができたか。
- ・安全に気をつけて活動できたか。

体育科指導案

平成8年6月19日(水)
 上原小4年1組
 男子6名 女子4名 計10名
 指導者 与世平 進

1. 単元名 マット運動

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

マット上で、得意な回り方で回ったり、新しい回り方に挑戦したりして、いろいろな回り方で回ることが楽しい運動である。

(2) 子供の立場から見た特性

- できる回り方で、何回も続けて回ることが楽しいと感じている。
- これまでできなかった技ができるようになりたいと思っている。
- 前転や後転は、ほとんどの子が今できる技に取り上げ、倒立前転やとび前転、側転、側方倒立回転、倒立回転もできるようになりたいと思っている子もいる。
- 安全に気をつけて、互いに教え合い励まし合いながら学習していきたいと思っている。

3. マット運動に対する基本的な考え方

ほとんどの子が、昼休みともなると何らかの形で運動に親しみ、男女仲良く活動している。アンケートの結果を見ると、好きと答えた子8名、嫌いと答えた子2名、嫌いの理由として、できないから、下手だから、失敗すると笑われるから等上げていっる。器械運動(マット運動)は、できないが分かりやすい運動なので、個人のめあてや課題をしっかり持たせ、互いに教え合い、はげまし合い、決まりを守り、今できる技を高め更に新しい技に挑戦するようにしたい。また、にがて(へた)な子やみんなが楽しくマット運動が、できるよう場の設定を工夫し、安全に気をつけながら進めていきたい。

4. 学習のねらいと道筋

- (1) 学習のねらい・・・できる回り方で続けて回ったり、新しい回り方に挑戦したりして楽しむ
 (2) 道筋・・・毎時間、「めあて1」を十分に行ってから「めあて2」に進む。
 めあて1 ㊦ できる回り方で続けて回ったり、組み合わせて回ったりする。きれいに、調子よく回る
 めあて2 ㊦ できそうな回り方に挑戦する。

5. 時間配分

	1	2	3	4	5	6	7
10	はじめ	技の 確認	めあて1				発表会
20							
30			めあて2				
40							まとめ

6. 施設・用具

- ・マット (10) ・跳び箱 (5) ・踏みきり板 (3) ・安全マット (2)
- ・旗立て台・ゴムひも (3)

7. 学習の指導と展開

は じ め 45 分	<p>1. 学習のねらいと道筋を理解し、学習の進め方について見通しを持つ。 児童書P12#13 を読みながら説明を加えて理解を深めさせる。</p> <p>2. 学習の決まりや安全について知る。</p> <p>3. 学習カード、チェックカードの使い方を知る。</p> <p>4. グルーピングと役割分担する。</p> <p>5. 用具の準備、かたづけの仕方について知る。</p>	
	学 習 の ね ら い と 活 動	指 導
技 の 確 認 45 分	<p>1. 自分の力を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動をする。 ・マットを並べ活動の場作りをする。 ・今できる回り方をためす。 ・連続でためす。 ・カードに記入する。 ・次時のめあてを決める。 	
	<p>●毎時間、「めあて1」を十分に行ってから「めあて2」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて1 ☒ できる回り方で続けて回ったり、組み合わせて回ったりする。きれいに、調子よく回る。</p> </div> <p>1. 場作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループごとに、前時で使ったマットと合わせて2～3枚準備する。 <p>2. めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で確かめたことをもとに、めあてを発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「めあて1」の例</p> <p>A男・・・前転、後転を続けてきれいに回る。</p> <p>B子・・・前転と開却前転を組み合わせて回る。</p> </div> <p>3. めあてに挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番を守って、安全に気をつけながら行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">活動の例</p> </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで場づくりをする。 ・めあてとなるいろいろな回り方を参考にさせる。 ・カードの使い方をわからせる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・マットの配置等安全に気をつけながら行わせる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・力にあつためあてか観察し適切な指示行う。 	

・各自が自分のめあてを教え合い、できばえを見る時はそれを知ってことばかけをする。

・必要に応じて助言する。

めあて2回 できそうな回り方に挑戦する。

1. 場作りをする。

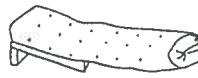
・各グループで役割を分担しあって場を作る。

・児童書を参考にして自分のめあてに合った場作りを工夫させる。

工夫したマットとめあての例



ふみ切り板を下におく



マットをまるめて



とび箱を利用



かべを利用

2. めあてを確認する。

・自分の挑戦できそうな回り方を確かめる。

「めあて2の例」

A男・・・跳び箱を置いたマットで倒立前転ととび前転に挑戦する。

B子・・・坂のマットで側方倒立回転をする。

3. めあてに挑戦する。

・やさしい場でできるようになったら、普通のマットで、できるような練習をする。

・同じ技に挑戦する子は、順番を守り、安全に気をつけ、教え合い、励まし合って練習する。

・力にあつためあてか観察し適切な指示行う。

・協力し合って練習するよう助言する。

4. 学習カード、チェックカードに記入し、次時のめあてを立てる。

- ま
と
め
10
分
1. マット運動のどんなところが楽しかったか話し合う。
 2. 次のことが、良くできたら◎、できたら○、できなかったら△をつける。
①自分の力に合っためあてを決めて、力いっぱい挑戦することができたか。()
②安全に気をつけて、協力してできたか。()
 3. 新しくできるようになった技をはっぴよする。

8. 評価

	1	2	3	4	5	6	7
10	はじめ	診断的 評価			形成的 評価		総括的 評価
20							
30							
40							

評価の観点

- ① マット運動のどんなところが楽しいかがわかり、力いっぱいめあてに挑戦できたか。
- ② 自分の力に合っためあてを選ぶことができたか。
- ③ 安全に気をつけて練習や挑戦をしていたか。
- ④ めあてが達成できるように、練習の工夫をしていたか。
- ⑤ 協力し合って、練習を進めていたか。
- ⑥ どの技ができるようになったか。

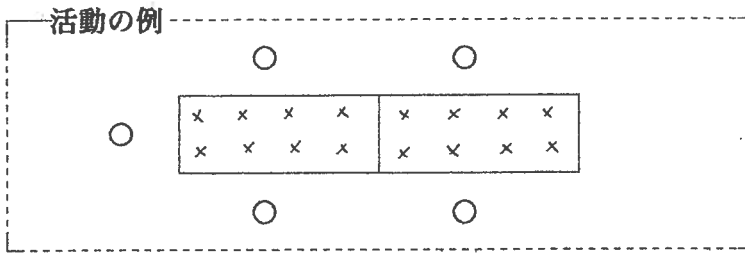
9. 本時の学習と指導の展開

(1) 本時のねらい

- ・できる回り方で続けて回ったり、新しい回り方に挑戦したりして楽しむ。

(2) 展開

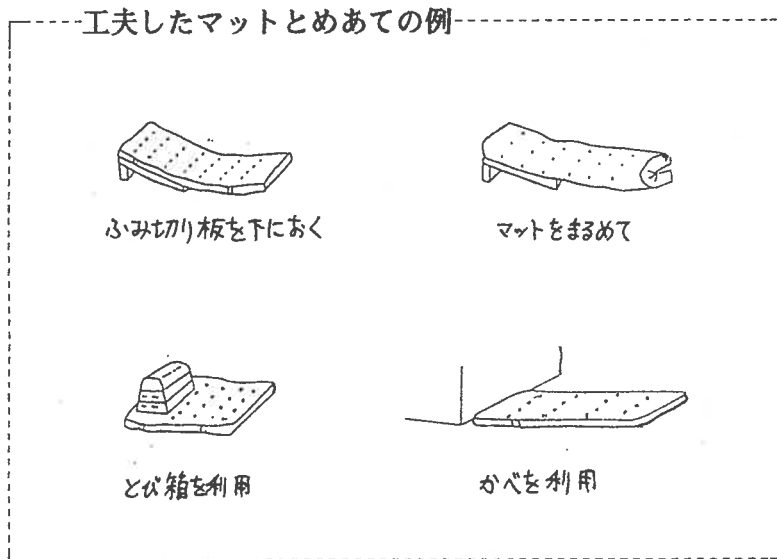
	学 習 の ね ら い と 活 動	指 導
初 め 10	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を準備する。 ・準備運動をする。 ・安全に気をつけることや決まりを守ることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット、使用する用具。 ・体をほぐす。(関節)
な か	<ul style="list-style-type: none"> ●学習のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて1回 できる回り方で続けて回ったり、組み合わせて回ったりする。きれいに、調子よく回る。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 場作りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・各グループごとに、前時で使ったマットと合わせて2～3枚準備する。 2. めあてを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時で確かめたことをもとに、めあてを発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「めあて1」の例</p> <p>A男・・・前転、後転を続けてきれいに回る。</p> <p>B子・・・前転と開却前転を組み合わせて回る。</p> </div> 3. めあてに挑戦する。 <ul style="list-style-type: none"> ・順番を守って、安全に気をつけながら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「めあて1」を十分に行ってから「めあて2」を行わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・マットの配置等安全に気をつけながら行わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・力にあつためあてか観察し適切な指示行う。



・各自が自分のめあてを教え合い、できばえを見る時はそれを知ってことばかけをする。

めあて2回 できそうな回り方に挑戦する。

1. 場作りをする。
 - ・各グループで役割を分担しあって場を作る。



2. めあてを確認する。
 - ・自分の挑戦できそうな回り方を確かめる。

「めあて2の例」

A男・・・跳び箱を置いたマットで倒立前転ととび前転に挑戦する。

B子・・・坂のマットで側方倒立回転をする。

3. めあてに挑戦する。
 - ・やさしい場でできるようになったら、普通のマットで、できるような練習をする。
 - ・同じ技に挑戦する子は、順番を守り、安全に気をつけ、教え合い、励まし合って練習する。

・必要に応じて助言する。

・児童書を参考にして自分のめあてに合った場作りを工夫させる。

・力にあつためあてか観察し適切な指示行う。

・協力し合って練習するよう助言する。

- まとめ
1. マット運動のどんなところが楽しかったか話し合う。
 2. 次のことが、良くできたら◎、できたら○、できなかったら△をつける。
 - ①自分の力に合っためあてを決めて、力いっぱい挑戦することができたか。()
 - ②安全に気をつけて、協力してできたか。()
 3. 新しくできた技()
3. 学習カード、チェックカードに記入し、次時のめあてを立てる。

体 育 科 指 導 案

平成8年9月18日(水)

上原小学校1年1組

男子4名 女子8名 計12名

指導者 平地 綾子

1. 単元名 「てつぼうあそび」

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

鉄棒を使って、ぶら下がったり、いろいろな上がり方や回り方、おり方をしたりして楽しむ運動である。またできない技ができるようになったとき、大きな楽しさを味わえる運動である。

(2) 子どもの立場から見た特性

- ・ 鉄棒にぶら下がったり、とび上がったり、とびおりたりして遊ぶと楽しい。
- ・ ぶら下がって遠くへ飛ぶと楽しい。
- ・ みんなで仲良く遊ぶと楽しい。
- ・ 落ちると痛いのでこわい。
- ・ あまりできないのでおもしろくない。

3. てつぼうあそびに対する基本的な考え方

一般的に1年生の初期の段階では、鉄棒を軸にして回る運動は、体の発育から見て無理な子が多いそのため、鉄棒を使っての遊びには全体的に関心が低い。

天気の良い休み時間には、ぶら下がって遊んでいる子が見られる。幼稚園の時に雲梯やジャングルジム等の固定施設で遊んだ経験があり、「こんなことができるよ」と多くのできる技を喜んで見せてくれた。しかし、鉄棒であまり遊ぶことの少ない児童もいる。

そこで、鉄棒遊びを好きにさせるために、固定施設の登り縄を利用した遊びに慣れ、親しませそれによって興味・関心を持たせるようにしたい。登り綱の利用は、つかむ、腕を曲げる、体を曲げる、足先に力をいれる等鉄棒遊びの基礎として大事なものと考える。

また、学習カードの活用、練習の場の工夫によって自分のめあてにそった学習が進めて行けるよう授業を進めていきたい。

4. 学習のねらいと道筋

(1) 学習のねらい・・・いろいろな鉄棒遊びをして楽しく遊ぶ。

(2) 道筋・・・単元の前半に「めあて1」を、後半に「めあて2」をおこなう。

- ・めあて1→今できる技で遊ぶ。
- ・めあて2→新しいできそうな技で遊ぶ。

5. 時間配分

	1	2	3	4	⑤	6	7	8
10		めあて1						
20	は じ め	な か						発表会
30		めあて2						
40								まとめ

6. 施設, 用具

- ・低鉄棒(2)・中鉄棒(2)・高鉄棒(1)・跳び箱(3)・踏切板(2)・安全マット
- ・回転用補助具

7. 学習の指導と展開

はじめ 45分	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習のねらいや道筋を理解し、学習の進め方について見通しを持つ。 2. 学習のきまりや安全について知る。 3. 学習カードを作成し、使い方を知る。 4. 見合ったり、教え合ったりして、協力しあって学習することを理解する。 (挿絵に遊び方を記入する。) 5. 自分の今できる技を確かめ、めあてを持つ。 	
	学習のねらいと活動	指 導
なか 45分 × 6 +	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて1. 今できる技で遊ぶ</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分が行う遊びを決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの段階でたしかめたじぶんの力を基に、遊びを決める。 2. グループで、その遊びを考える。 3. 決めた技を十分に楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・各グループが指示された場所で、順番を守って互いに見合いながら遊ぶ。 ・慣れてきたら、やや高めの鉄棒でも行う。 <p>例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">A君・・・こうもり Bさん・・・ぶらんこ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて2 新しいできそうな技で遊ぶ</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい(できそうな)技で遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの段階で確かめた、自分の力を基にして、挑戦する技を決める。 2. できそうな技に挑戦する。 <ul style="list-style-type: none"> ・場所を変えたり、練習方法を工夫したりして、新しい技を練習する。 ・補助具を使ってできるように挑戦する。 ・補助具なしでできるように挑戦する。 ・グループで安全に気をつけて、見合いながら練習する 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあて1の意味がよくわかり自分が今できる技で遊ぶことができるか観察し、必要に応じて助言する。 ・協力しあって話し合っているか観察する。 ・めあて1が十分に行われたらめあて2に進むように指示する。 ・自分の力にあった技を選びそれに適した鉄棒で挑戦しているか観察し、必要に応じて助言する。 ・同じ鉄棒を使う人と協力して活動しているか観察し必要に応じて助言する。
30分		

ま と め 10	<p>1. てつぼうあそびのどんなところが楽しかったか話し合う。</p> <p>2. 次のことがよくできたら赤シール，できなかつたら青シールをはる。</p> <p>①楽しくできた。②いっぱい練習した。③仲良くできた</p> <p>・どんな技が新しくできるようになったか話し合う。</p>	<p>・学習カード，まとめカードをもとに記入させる。</p>
-------------------	---	--------------------------------

8. 評価

	1	2	3	4	5	6	7	8	
10	診断的評価				形成的評価				総括的評価
20									
30									
40									
		反 省							

(1) 評価の観点

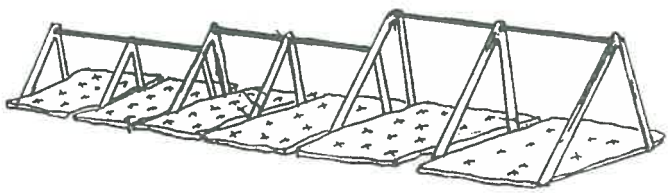
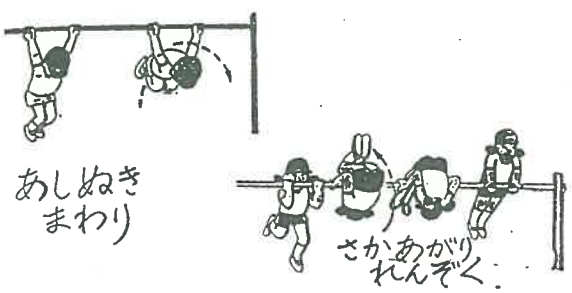
- 診断的評価
 - 学習に対する意欲や、協力性、簡単な技能等を把握する。
- 形成的評価
 - 学習カード、教師のチェックカード等の観察を通して評価する。
- 総括的評価
 - ①グループの仲間と協力しながら、めあてをもって学習に取りくもうとしたか。
 - ②順番やきまりを守って運動したか。
 - ③安全に気をつけて、活動したか。
 - ④自分の力にあった技を選ぶことができたか。
 - ⑤いくつかの技ができるようになり、てつぼうあそびが上手になったか。

9. 本時の学習と指導の展開 (5/8)

(1) 本時のねらい

- ・今できる技で遊んだり, 新しいできそうな技に挑戦して遊ぶ。

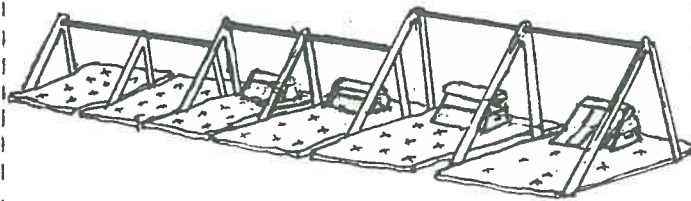
(2) 展開

	学習のねらいと活動	指導
はじめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・のぼり縄や鉄棒を使って楽しく遊ぶ。(準備運動) ・各自のめあてと, 学習の流れ, グループの確認をする。 ・安全面や, きまりについて確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手首や関節など念入りに行う ・グループでするようにさせる
なか か 30分	<p>めあて1 今できる技で楽しく遊ぶ</p> <p>1. めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で確かめたことをもとにめあてを発表する。 ・各グループごとに, あそびの工夫を相談する。 <p>2. 場作りをする。</p> <p>例</p> <p>三種類の高さの違う三角鉄棒を 設置(8連)下にマットをひく。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに合った遊びを選んで いるか観察助言する。 ・みんなと協力しているか観察 し助言する。
なか か 30分	<p>3. めあてに挑戦する。</p> <p>例</p>  <p>あしぬき まわり</p> <p>さかあがり れんぞく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力にあつためあてか観 察し, 助言指導する。 ・同じ技に挑戦する子で仲良く 順番を守り, 遊びを考えてい るか助言する。

めあて2 新しいできそうな技であそぶ

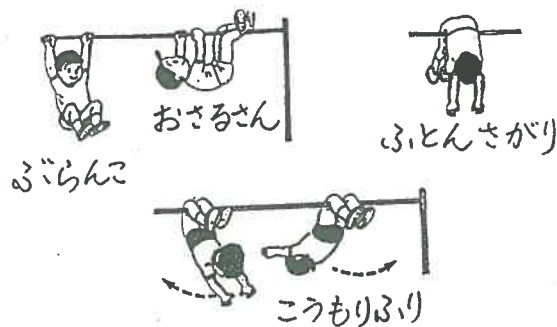
1. めあて2の確認をする。
2. グループで遊びの工夫を考える。
3. 場を作る。

--- 飛び箱などを利用する。 ---



4. めあてに挑戦する。

例



・自分の力にあつためあてか確認し、観察し場面に応じて助言する。

・めあて1の場と比較して新しい技に挑戦するのに工夫されているか観察し、場に応じて助言する。

・常にめあてを確認し、無理なめあては直すようにさせる。

- ま
と
め
5
分
1. てつぼうあそびのどんなところが楽しかったか発表する。
 2. 学習カード、まとめカードに記入する。
 3. 次時のめあてを立てる。

(3) 評価

- ①鉄棒運動のどんなところが楽しかったか分かり、力いっぱい練習し、めあてに挑戦できたか。
- ②順番やきまりを守って運動したか。
- ③安全に気をつけて、活動したか。
- ④自分の力にあつた技を選ぶことができたか。
- ⑤いくつかの技ができるようになり、てつぼうあそびが上手になったか。

2. 學習環境研究部

1. 体育用具の一覧

()は自作用具数

△は基準に無いもの

番号	品目	基準数量	現有数量	±
1	記録用黒板	4	1	-3
2	教授用掛図(体育)	1	0	-1
3	教授用掛図(保健)	2	1	-1
4	跳び箱	8	8	0
5	踏切板	8	5(1)	-3
6	踏切板距離調節器	8	0	-8
7	マット	20	10	-10
8	セフティマット	3	1	-2
9	低鉄棒(移動式)	6	5	-1
10	逆上がり練習器	6	0	-6
11	平均台	6	3	-3
12	タンブリン	8	0	-8
13	体育用太鼓	3	0	-3
14	オルガン	1	0	-1
15	ライン引き	4	5	+1
16	距離測定器	2	0	-2
17	コーナーポスト	20	3	-17
18	スターティングブロック	12	1(2)	-11
19	信号器(シグナル)	2	2	0
20	走り高跳び用スタンド	4	1	-3
21	バトン	18	5	-13
22	ハードル	18	12	-6
23	体操用腰掛け	20	0	-20
24	ソフトボール用一式	2組	0	-2
25	テニスラケット	8	2	-6
26	テニス用支柱・ネット	1	0	-1
27	サッカーゴールポスト・ネット	2	1(1)	-1
28	バスケットゴール(移動式)	2	0	-1
29	バトミントン一式	3組	0	-3
30	卓球一式	3組	1	-2
31	ポートボール台(2台1組)	6組	1	-5
32	ボール整理かご	4	2	-2
33	得点板	6	3	-3
34	石灰入れ	1	0	-1
35	昇降運動用踏み台	2	0(2)	-2
36	体操用棒	40	0	-40

番号	品目	基準数量	現有数量	±
37	体操用輪	40	7	-33
38	一輪車	30	20	-10
39	竹馬	30	0(7)	-30
40	大玉	4	0	-4
41	ボール投的板	3	0	-3
42	旗立て台	18	0(16)	-18
43	シャベル	6	0	-6
44	砂ならし	3		
45	空気入れ	4	1	-3
46	長縄	12	0(1)	-12
47	短縄	40	0	-40
48	綱引き用ロープ	1	0(2)	-1
49	フール用腕式	1組	0	-1
50	体育関係測定器	2組	0	-1
	上体そらし測定器		1	
	背筋力計		1	
	握力計		1	
	オージオメーター		1	
△	卓球台		1	
△	審判台		1	
△	マット運搬車		1	
△	バレー支柱・ネット		1	
△	バトミントン支柱		1	
△	ゲーム用ベスト		40	
△	ユニホック		1組	
△	ストップウォッチ		6	
△	巻き尺(10m)		1	
△	巻き尺(50m)		1	
△	巻き尺(100m)		1	
△	バレーボール		1	
△	サッカーボール		9	
△	バスケットボール		19	
△	ドッジボール		30	
△	ノーパンクボール		7	
△	ソフトボール(1号)		5	
△	ソフトボール(3号)		4	
△	逆上がり補助器		(4)	

2. 3年間の用具の購入状況

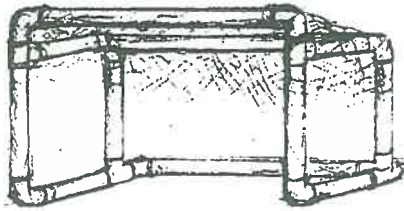
	用具・器具名	平成6年度	平成7年度	平成8年度	計
1	跳び箱	1 (低学年用)	1 (低学年用)	0	2
2	踏切板	4	1	0	5
3	平均台	0	0	1	1
4	鉄棒	5セット (10連)	0	0	5
5	逆上がり補助具	0	0	4	4
6	体操用輪	10	0	0	10
7	一輪車	8	12	0	20
8	サッカーボール	0	9	0	9
9	バスケットボール	0	10	0	10
10	ドッジボール	0	20	0	20
11	簡易サッカーゴール	0	1組 (自作)	0	1
12	記録用黒板	0	0	1	1
13	ライン引き	0	3	0	3
14	空気入れ (自動)	1	0	0	1
15	ジャングルジム	0	0	1	1

成果

- ・ 前年度購入の器械運動の用具 (マット、跳び箱、踏切板) に加え、鉄棒運動の補助用具の購入をし、鉄棒運動においての場の場の工夫が容易になった。
- ・ これまで1つもなかった固定遊具だが、今年度ジャングルジムの設置を予定。
- ・ 一輪車は、低、中、高学年それぞれの高さにあったものを購入できた。特に低学年の児童の一輪車に触れる機会が多くなった。
- ・ 記録用黒板、ポートボール台等の補修ができた。
- ・ 新規購入以上に自作や補修により、用具の効果的な利用、拡充が図れた。

3. 工夫した用具

①簡易サッカーゴール



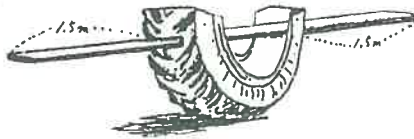
エスロンパイプによるサッカーゴール。雨天時に体育館でのゲーム用として製作。鉄製のものに比べ軽量で移動が容易。底部にコンクリートをつめ、安全性への配慮をした

②布ボール



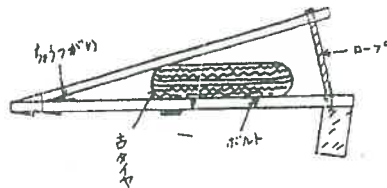
パッチワークによる布ボール低学年のゲーム等に使用することによりボールに対する恐怖心を取り除き、また力の差のある高学年でも手加減することなしに思い切りゲームを楽しむことができる。

③古タイヤを利用したシーソー



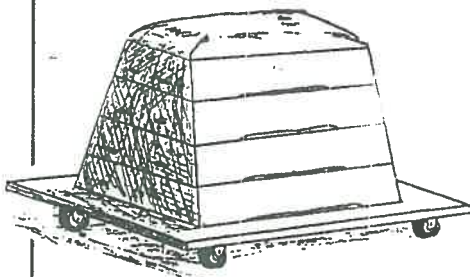
廃棄された古タイヤを利用し製作従来のような固定式では無く移動が容易であるまた、板を取り付けていないものでは、児童が寝そべって遊ぶ事も可能。遊びが多様化する

④踏切板



廃棄された踏切板2枚を使用。間に古タイヤをはさむより、ロイター板以上の跳躍力を得事が可能。器械運動だけでなく高跳びなどの跳運動にも効果的であると考えられる。

⑤跳び箱運搬台

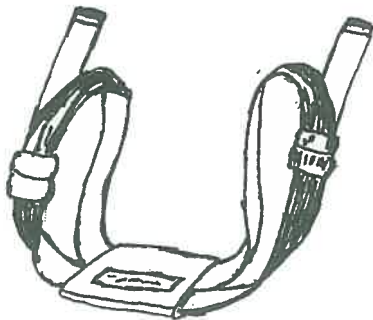


どの学校でも使用されていると思うが、これを使うことにより低学年でも安全かつ楽に跳び箱の移動が可能キャスター取り付け部を十分に補強することが必要

※ ⑥器械運動資料掲示板

体育館へ常設することにより技への認識を高めるとともに手立てを明らかにする。

※ ⑦携帯用逆上がり練習具 (鉄棒くるりんベルト)



東京教育技術研究所より購入。従来のものより軽量、安価、段階別練習が可能。

※ ⑧一輪車個人記録掲示板

体育館へ常設。体育朝会や授業、また昼休みなどを通して練習し、検定にうければシールをはるようにする。

※は今年度製作購入

3. 調査研究部

1. 児童の体位調査

体位の比較（県・全国平均との比較）

男 子		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
身長	上原小	105.8	123.0	127.7	133.5	141.2	142.0
	沖縄県	115.4	121.5	128.1	131.8	137.2	143.7
	全 国	116.8	122.5	127.1	133.4	138.9	144.9
体重	上原小	18.6	24.6	28.5	30.9	41.5	35.8
	沖縄県	21.5	24.0	27.6	30.8	33.8	38.7
	全 国	21.7	24.4	27.6	30.2	34.5	38.6
座位高	上原小	60.8	69.1	70.8	73.3	75.3	76.6
	沖縄県	64.6	97.5	70.0	72.1	74.4	77.1
	全 国	65.1	67.8	70.4	72.8	75.1	77.6

女 子		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
身長	上原小	118.4	114.6	127.8	130.2	140.3	145.1
	沖縄県	115.5	120.8	126.9	133.3	139.9	146.9
	全 国	116.0	121.8	127.6	133.5	140.2	146.7
体重	上原小	22.8	24.2	29.6	29.6	33.1	39.5
	沖縄県	21.4	23.9	26.5	30.2	34.5	40.2
	全 国	21.3	23.4	27.0	30.5	34.6	39.6
座位高	上原小	66.6	65.5	72.7	72.0	76.0	79.0
	沖縄県	64.7	67.5	69.8	72.8	76.0	79.6
	全 国	64.7	67.0	70.1	72.9	76.0	79.3

*本校児童の体位の結果をみると、全校平均を全国、県と比較すると身長は約1.7 cm下回っているが、体重は約0.4 kg上回っている。

2. ローレル指数で見る本校児童の肥満度（％）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
太り過ぎ	8.3	10.0	15.4	0	10.0	11.8
太りぎみ	25.0	10.0	7.7	20.0	10.0	5.9
標 準	66.7	80.0	69.2	70.0	60.0	58.8
やせぎみ	0	0	7.7	10.0	20.0	23.5
やせすぎ	0	0	0	0	0	0

3. スポーツテストの集計結果（県・全国との比較）

全国、県の資料は平成7年度のものを使用した。

◎ 全国平均より優位

○ 県平均より優位

1年

		50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	飛込くぐり(秒)	持ち運び(秒)
男	本校	○11.63	◎129.00	◎ 8.25	◎ 13.80	◎ 15.10
	県	11.80	113.90	9.90	14.80	15.80
子	全国	11.44	119.37	9.85	15.04	15.93
女	本校	○11.80	◎117.50	◎ 7.00	◎ 15.68	◎ 15.40
	県	12.10	105.20	6.10	16.20	16.50
子	全国	11.69	110.97	6.15	16.32	16.61

2年

		50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	飛込くぐり(秒)	持ち運び(秒)
男	本校	11.58	◎134.83	◎14.00	14.95	◎ 15.61
	県	10.90	128.40	13.50	13.30	14.80
子	全国	10.58	132.11	13.68	13.43	14.91
女	本校	○10.90	◎124.50	7.00	◎ 13.05	◎ 14.40
	県	11.20	118.20	8.00	14.50	15.60
子	全国	10.89	122.72	8.12	14.64	15.70

3年

		50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	飛込くぐり(秒)	持ち運び(秒)
男	本校	○10.16	139.83	◎ 21.66	◎ 11.73	◎ 13.76
	県	10.20	140.00	17.60	12.50	14.10
子	全国	10.03	142.41	18.42	12.34	14.27
女	本校	11.16	132.33	◎ 11.66	◎ 12.83	◎ 14.35
	県	10.60	129.90	10.30	13.30	15.00
子	全国	10.34	134.36	10.41	13.30	14.96

4年

		50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	飛込くぐり(秒)	持ち運び(秒)
男	本校	◎ 9.21	◎163.50	◎ 28.50	◎ 9.58	◎ 12.10
	県	9.80	148.80	22.10	11.60	13.50
子	全国	9.59	152.41	22.82	11.56	13.75
女	本校	◎ 9.45	◎152.75	◎ 13.50	◎ 10.47	◎ 13.17
	県	10.00	139.50	12.60	12.50	14.40
子	全国	9.88	142.90	13.18	12.53	14.54

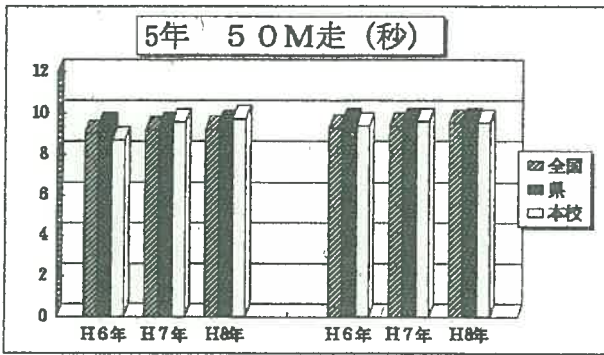
5年

		50m走(秒)	ソフトボール投げ(m)	シガザドリブル(秒)	遊戯上り(回)
男	本校	9.73	◎ 29.33	◎ 16.83	2.00
	県	9.50	25.60	18.00	2.20
子	全国	9.21	26.67	18.28	4.05
女	本校	○ 9.55	◎ 17.14	◎ 16.00	0.85
	県	9.60	15.30	20.20	1.80
子	全国	9.52	15.37	20.54	3.96

6年

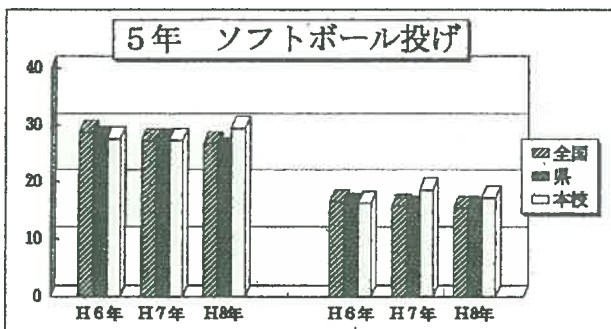
		50m走(秒)	ソフトボール投げ(m)	シガザドリブル(秒)	遊戯上り(回)
男	本校	◎ 8.64	◎ 32.70	◎ 14.72	○ 3.10
	県	9.00	31.70	16.50	2.30
子	全国	8.93	31.30	17.00	4.16
女	本校	◎ 8.74	◎ 20.42	◎ 14.72	○ 2.00
	県	9.30	17.70	19.20	1.50
子	全国	9.21	18.14	19.05	4.02

4. スポーツテストの調査結果における3年間の推移
(5、6年)



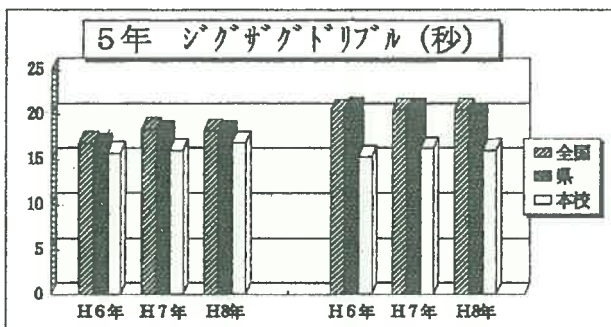
5年 50M走 (秒)

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	9.03	9.17	9.21	9.28	9.38	9.52
県	9.4	9.4	9.5	9.6	9.6	9.6
本校	8.7	9.57	9.73	9.41	9.61	9.55



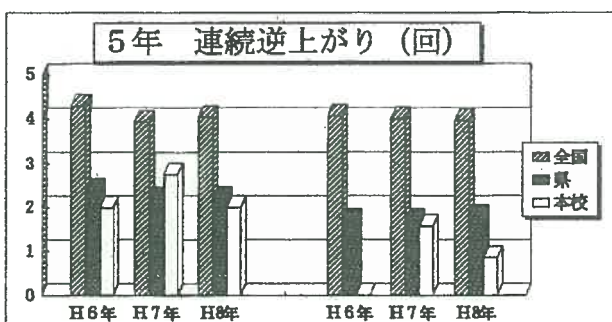
5年 ソフトボール投げ

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	28.69	27.11	26.67	16.47	15.66	15.37
県	27.7	27.2	25.6	15.9	15.3	15.3
本校	27.5	27.33	29.33	16.22	18.57	17.14



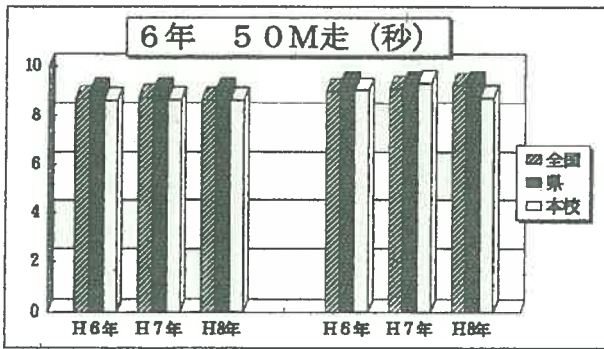
5年 ジグザグドリブル (秒)

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	16.78	18.4	18.12	20.4	20.53	20.54
県	16.6	18	18	20.6	20.5	20
本校	15.7	15.98	16.83	15.25	16.2	16



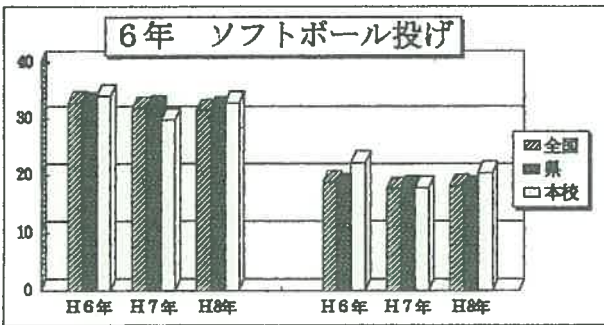
5年 連続逆上がり (回)

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	4.29	3.93	4.05	4.07	4.01	3.96
県	2.4	2.2	2.2	1.7	1.7	1.8
本校	2	2.75	2	0	1.57	0.85



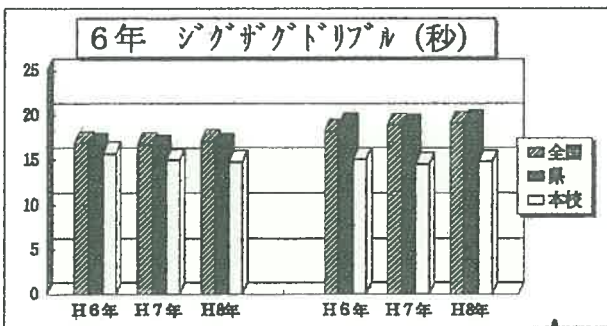
6年 50M走 (秒)

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	8.69	8.76	8.64	8.99	9.08	9.21
県	9	9	9	9.3	9.3	9.3
本校	8.64	8.67	8.64	9.02	9.33	8.74



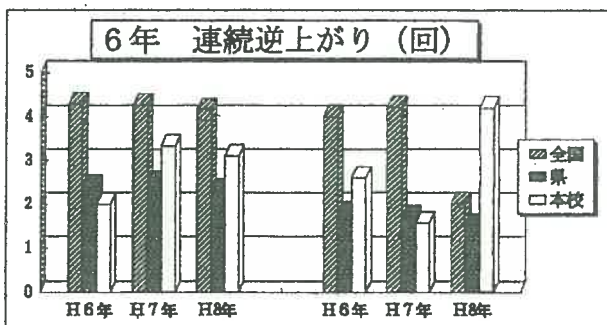
6年 ソフトボール投げ

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	32.71	31.73	31.3	18.69	17.55	18.14
県	32.5	31.9	31.7	18.2	17.8	17.7
本校	34	29.67	32.7	22.2	17.78	20.42



6年 ジグザグドリブル (秒)

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	16.78	16.69	17	18.14	18.78	19.05
県	16.6	16.4	16.5	18.9	18.7	19.2
本校	15.7	14.97	14.72	15.04	14.52	14.72



6年 連続逆上がり (回)

	男子			女子		
	H6年	H7年	H8年	H6年	H7年	H8年
全国	4.29	4.26	4.16	4.01	4.22	2
県	2.4	2.5	2.3	1.8	1.7	1.5
本校	2	3.33	3.1	2.6	1.56	4.2

5. 体育学習についてのアンケート

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	12	8	10	10	10	17	67

項目	人数	%	分布	考察
1. 体育の授業について教えてください				
(1) 体育の授業は楽しいですか。				
ア、はい	低学年 27	100		・体育の授業はほとんどの子が好きと答え得に低学年は全員が楽しいと答えている。
	高学年 33	92		
イ、いいえ	低学年 0	0		
	高学年 3	8		
(2) はいと答えた人で、楽しいのはどんなときですか。				
ア、できなかつたことができたとき	低学年 16	59		・楽しいと答える理由は、やはり成功した時やできたときだということがわかる。
	高学年 24	67		
イ、上手にできたとき	低学年 8	30		・高学年でも、上手にできたとき、競争に勝ったときなどが楽しいと答えている。
	高学年 17	47		
ウ、先生にほめられたとき	低学年 2	7		
	高学年 3	8		
エ、みんなの前でするとき	低学年 5	19		
	高学年 2	6		
オ、のびのびできたとき	低学年 0	0		
	高学年 5	14		
カ、力いっぱい動けたとき	低学年 11	41		
	高学年 15	42		
キ、競争やゲームに勝ったとき	低学年 14	52		
	高学年 16	44		
ク、作戦がうまくいったとき	低学年 12	44		
	高学年 8	22		
ケ、自分の責任が果たせたとき	低学年 0	0		
	高学年 1	3		
コ、友達に助けてもらったとき	低学年 6	22		
	高学年 1	3		
サ、グループで協力し合えたとき	低学年 8	30		
	高学年 6	17		

項目	人数	%	分布	考察
(3) いいえと答えた人で、楽しくないのはどんなときですか。			0 50 100	
ア、苦手なものが 多い	低学年 高学年	0 3	0 8	・楽しくないときは、苦手なものが多いということである。
イ、友達から文句を 言われるとき	低学年 高学年	0 1	0 3	
ウ、おもいきり動く ことができない	低学年 高学年	0 2	0 6	
エ、グループの人と 仲良くできない	低学年 高学年	0 0	0 0	
オ、ボールがあまり 回ってこない	低学年 高学年	0 3	0 8	
カ、その他	低学年 高学年	0 0	0 0	
(4) 体育の学習で好きな種目を3つ 選びましょう。				
ア、体操	低学年 高学年	9 3	33 8	・低・高学年ともボール運動が一番好きな運動であることがわかる。
イ、ボール運動	低学年 高学年	22 32	81 89	
ウ、器械運動	低学年 高学年	12 14	44 39	
エ、陸上運動	低学年 高学年	7 19	26 53	・海に恵まれているため、水遊びをする機会があるからだと思われる。
オ、水泳	低学年 高学年	21 27	78 75	
カ、表現	低学年 高学年	2 3	7 8	
キ、その他	低学年 高学年	0 5	0 14	

項 目	人数	%	分 布	考 察
2. 休み時間について教えてください。 (1) あなたは、45分の休み時間を どのように過ごしていますか。			0 50 100	
① どこで過ごしていますか。				
ア、ほとんど外で 過ごしている	低学年 7 高学年 2	26 6		
イ、体育館で 過ごしている	低学年 10 高学年 24	37 67		・多くの児童が体育館で過ごすのは、運動場が遠いためと思われる。
ウ、教室で過ごしている	低学年 10 高学年 10	37 28		
② おもにどんなことを して過ごしていますか				
ア、友達とおしゃべり	低学年 2 高学年 7	7 19		・ほとんどの子がなんらかの活動をしていることがわかる。
イ、なんとなくぼんやり 過ごしている	低学年 1 高学年 2	4 6		
ウ、プーカー野球	低学年 1 高学年 4	4 11		・低学年は一輪車、高学年はバスケットサッカーをする子が多い。
エ、一輪車	低学年 3 高学年 1	11 3		
オ、バスケット	低学年 2 高学年 12	7 37		
カ、音楽鑑賞	低学年 0 高学年 0	0 0		
キ、読書	低学年 0 高学年 1	0 3		
ク、ボール遊び	低学年 1 高学年 2	4 6		
ケ、サッカー	低学年 4 高学年 4	15 11		
コ、パソコン	低学年 5 高学年 4	19 11		
サ、絵を書く	低学年 0 高学年 2	0 6		
シ、鉄棒	低学年 3 高学年 0	11 0		

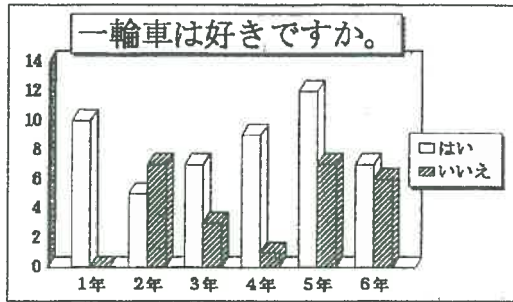
項目	人数	%	分布	考察
3. 運動やスポーツについて答え てください。				
(1) 運動やスポーツは好きですか。				
ア、はい	低学年 高学年	25 32	93 89	・ほとんどの児童が、運動やスポーツは好きだと答えている。
イ、いいえ	低学年 高学年	2 4	7 11	
(2) 運動やスポーツをすると体のために役立つと思いますか。				
ア、はい	低学年 高学年	26 34	96 94	・運動をすることは、健康の維持に大切だと考えている児童がほとんどである。
イ、いいえ	低学年 高学年	1 0	4 0	
(3) 家族の人と一緒に運動やスポーツをしたことがありますか				
ア、はい	低学年 高学年	14 20	52 56	・低・高学年とも半数の家庭で、家族と一緒にスポーツを楽しんでいることがわかる。
イ、いいえ	低学年 高学年	13 14	48 39	
(4) はいと答えた人は何をしていますか				
・サッカー	・水泳			
・キャチボール	・縄とび			
・マラソン	・野球			
・ランニング				
(5) 体を強くするために、何かを続けてやっていますか。				
ア、はい	低学年 高学年	10 18	37 50	・放課後の部活動を通して、運動に親しんでいることがわかる。
イ、いいえ	低学年 高学年	17 13	63 36	
(6) はいと答えた人は、どんなことをしていますか。				
・バスケット	・野球			
・マラソン	・体操			
・剣道				
・縄とび				

6. 一輪車に関するアンケート調査の結果

(1) 一輪車は好きですか。

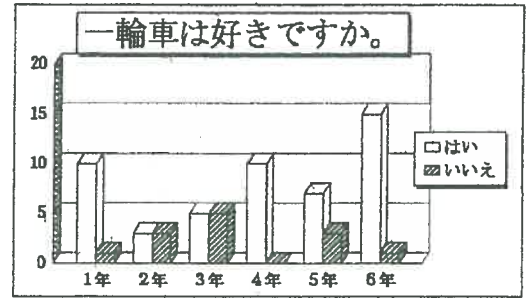
平成7年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	10	12	10	10	19	13	74
はい	10	5	7	9	12	7	50
いいえ	0	7	3	1	7	6	24



平成8年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	11	6	10	10	10	16	63
はい	10	3	5	10	7	15	50
いいえ	1	3	5	0	3	1	13



(2) 一輪車が好きな理由を書いてください。

- ・楽しいから (21人)
- ・友達と競争できるから (1人)
- ・いろんな技があるから (7人)
- ・ほめられたことがあるから (1人)
- ・仲良く遊べるから (1人)
- ・おもしろいから (7人)
- ・早く乗れるようになりたいから (2人)
- ・上手に乗れるようになったから (8人)

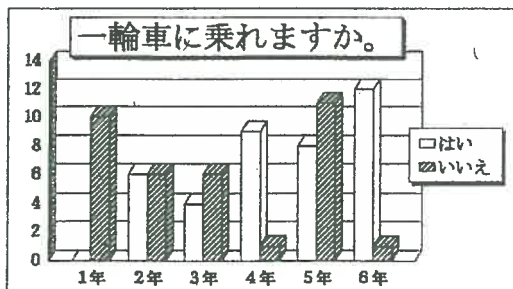
(3) 一輪車がきらいな理由を書いてください。

- ・転んだりするから (3人)
- ・あぶないから (1人)
- ・ケガをするから (1人)
- ・乗っているだけだから (2人)
- ・あまり技ができないから (1人)
- ・面白くないから (1人)
- ・むずかしいから (1人)

(4) 一輪車に乗れますか。

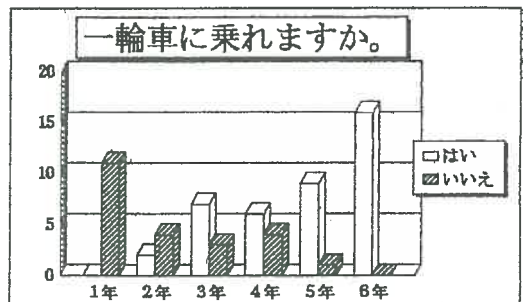
平成7年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	10	12	10	10	19	13	74
はい	0	6	4	9	8	12	39
いいえ	10	6	6	1	11	1	35



平成8年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	11	6	10	10	10	16	63
はい	0	2	7	6	9	16	40
いいえ	11	4	3	4	1	0	23



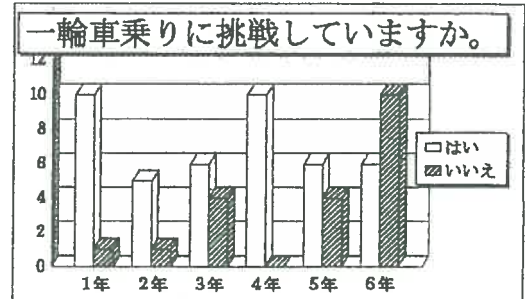
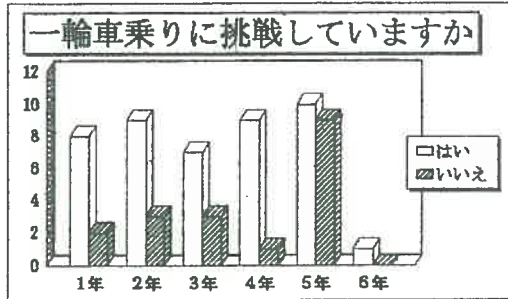
(5) 一輪車乗りに挑戦していますか。

平成7年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	10	12	10	10	19	13	74
はい	8	9	7	9	10	1	44
いいえ	2	3	3	1	9	0	18

平成8年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	11	6	10	10	10	16	63
はい	10	5	6	10	6	6	43
いいえ	1	1	4	0	4	10	20



(6) いつごろから乗れましたか。

平成7年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1年	0						0
2年		2					2
3年	4	1	3				4
4年			5	4			9
5年			1	5	2		8
6年			2	1	5	3	11

平成8年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1年	0						0
2年	2						2
3年	2	4	1				7
4年		3	1	2			6
5年			5	4	2		9
6年				6	9	1	16

(7) 今一輪車でできる技と人数

平成8年度 児童数 男子 (32人) 女子 (34人) 合計 (66人)

種目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	率	
1 つたい乗りができる	11	5	9	10	10	16	61	93%	
2 支えからスタートして2m~5m	0	4	8	9	9	16	46	70%	
3 一人で10m進める	0	2	5	5	9	16	37	56%	
4 一人で30m進める	0	1	5	6	9	16	37	56%	
5 一人で50m進める	0	1	5	6	9	16	37	56%	
6 Uターンができる	0	1	5	4	9	16	35	53%	
7 8の字のように乗れる	0	0	5	4	9	15	33	50%	
8 ジグザグができる	0	1	4	3	6	12	26	39%	
9 なわとびができる	0	0	3	0	6	12	19	28%	
10 ボール投げができる	0	0	3	3	7	14	27	40%	
11 ボールを受けることができる	0	0	3	3	9	14	29	43%	
12 ドリブルができる	0	0	4	3	9	14	30	45%	
13 バックでドリブルができる	0	0	4	0	5	1	7	10%	

考察

- ・ 現在一輪車が26台あり、誰もが乗れるような環境づくりを工夫してきた。その結果、ほとんどの児童がなんらかの技で乗ることができる。
また、高学年になるにしたがって、高度の技ができ、一輪車を利用しての遊びが増えてきている。
- ・ 低学年用の一輪車を購入することにより、すこしずつではあるが、1年生の中にも乗れる児童が増えてきている。

7.授業前の実態調査

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	12	8	10	10	10	17	67

(1) 跳び箱運動

項	目	学 年						計	%		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年				
1	跳び箱運動は好きですか。	好き	10	7	9	8	6	12	52	77	
		きらい	2	1	1	2	4	5	15	22	
2	好きな理由は、どうしてです。	できるから	10	4	6	6	4	8	38	56	
		ほめられたことがあるから	0	0	0	1	1	3	5	7	
		できないけど楽しいから	0	1	1	1	2	0	5	7	
		その他	0	0	2	0	0	1	3	4	
3	きらいな理由は、どうしてですか。	できないから	1	1	0	1	3	1	7	10	
		難しいから	0	0	1	1	2	2	6	8	
		ケガをしたことがあるから	0	0	0	0	1	0	1	1	
		笑われたことがあるから	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	1	0	0	0	0	2	3	4	
4	これまでやったことのある技	のぼる	7	8	10	9	8	17	59	88	
		おりる	5	8	10	9	8	17	57	85	
		踏み越す	6	8	10	8	8	17	57	85	
		またぎごし	8	8	10	8	8	16	58	86	
		腕立てとび上がり	8	8	10	6	8	16	56	84	
		腕立てとびおり	2	8	10	6	9	17	52	77	
		腕立て開脚	0	8	9	7	8	17	49	73	
		腕立て閉脚	0	1	8	7	9	15	40	59	
		台上前転	0	0	6	7	9	15	37	55	
5	今、できる技	のぼる	4	8	9	9	10	17	57	85	
		おりる	3	8	9	9	10	17	56	83	
		踏み越す	4	8	9	8	10	17	56	83	
		またぎごし	3	8	9	7	10	17	54	80	
		腕立てとび上がり	0	8	7	6	10	16	37	55	
		腕立てとびおり	2	8	8	5	10	17	50	74	
		腕立て開脚とび	1段	0	8	9	9	10	17	53	79
			2段	0	7	9	9	10	17	52	77
			3段	0	7	9	9	10	17	52	77
			4段	0	7	8	9	9	17	50	74
			5段	0	3	6	7	8	17	41	61
			6段	0	3	6	7	8	16	40	59
			7段	0	0	6	7	8	14	35	52
			8段	0	0	4	2	4	13	23	34
		腕立て閉脚とび	1段	1	0	8	7	10	16	42	62
			2段	0	0	8	7	10	16	41	61
			3段	0	0	7	7	10	15	39	58
			4段	0	0	5	7	8	14	34	50
			5段	0	0	5	6	8	10	29	43
			6段	0	0	2	4	7	6	19	28
			7段	0	0	1	1	7	0	9	13
			8段	0	0	0	0	5	0	5	7
		台上前転	1段	0	0	8	8	10	16	42	62
			2段	0	0	8	8	10	16	42	62
			3段	0	0	7	8	7	15	37	55
			4段	0	0	6	8	5	14	33	49
			5段	0	0	6	5	5	13	29	43
			6段	0	0	1	4	0	10	15	22
7段	0		0	1	3	0	5	9	13		
8段	0		0	1	2	0	5	8	11		

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	12	8	10	10	10	17	67

(2) 鉄棒運動

項 目		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	%	
1	鉄棒運動は好きですか。	好き	9	6	10	10	6	6	47	70
		きらい	3	2	0	0	4	11	20	29
2	好きな理由は、どうしてです。	できるから	7	3	5	4	3	3	25	37
		ほめられたことがあるから	0	2	0	1	0	11	14	20
		できないけど楽しいから	1	1	1	5	3	0	11	16
		その他	1	0	4	0	0	3	8	11
3	きらいな理由は、どうしてですか。	できないから	1	0	1	0	3	3	8	11
		難しいから	1	1	0	0	4	7	13	19
		ケガをしたことがあるから	0	0	0	0	0	0	0	0
		笑われたことがあるから	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	0	0	0	1	2	2
4	これまでやったことのある技	腕立てとび上がり	7	7	10	9	8	17	58	86
		背上がり	1	2	8	4	8	13	36	53
		逆上がり	4	7	11	10	9	17	58	86
		ひざかけ上がり	6	4	8	9	8	13	48	71
		足ぬき回り	5	6	9	9	6	17	52	77
		だるま回り	2	1	9	6	1	10	29	43
		後方しじ回転	0	6	8	8	0	12	34	50
		前方しじ回転	0	5	7	5	0	15	32	47
		後方ひざかけ回転	0	4	5	5	3	11	28	41
		前方ひざかけ回転	0	7	5	5	3	13	33	49
		前方回転おり	0	4	5	6	4	14	33	49
		後ろおり	0	6	9	7	7	17	46	68
		踏み越しおり	0	6	7	5	4	17	39	58
転向前おり	0	2	6	6	5	15	34	50		
5	今、できる技	腕立てとび上がり	4	7	2	8	8	16	45	67
		背上がり	0	0	3	1	7	3	14	20
		逆上がり	0	3	4	8	4	14	33	49
		ひざかけ上がり	0	2	2	3	7	7	21	31
		足ぬき回り	0	6	3	8	5	17	39	58
		だるま回り	0	0	7	0	0	5	12	17
		後方しじ回転	0	3	3	3	0	5	14	20
		前方しじ回転	0	6	4	2	0	4	16	23
		腕後方ひざかけ回転	0	3	1	1	1	5	11	16
		開前方ひざかけ回転	0	1	0	3	1	8	13	17
		前方回転おり	0	1	1	2	2	15	21	31
		後ろおり	0	6	5	6	7	17	41	61
		踏み越しおり	0	4	6	2	5	16	33	49
転向前おり	0	2	4	4	5	16	31	46		

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	12	9	12	10	10	17	70

(3) マット運動

	項 目	学 年						計	%	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
1	マット運動は好きですか。	好き	12	4	10	8	3	8	45	64
		きらい	0	5	2	2	7	9	25	36
2	好きな理由は どうしてです。	できるから	10	3	4	4	1	2	24	53
		ほめられたことがあるから	0	0	0	0	2	1	3	7
		できないけど楽しいから	0	1	0	3	0	0	4	11
		その他	1	0	6	1	0	5	13	29
3	きらいな理由は どうしてですか。	できないから	0	0	0	1	5	5	11	44
		難しいから	0	1	0	1	0	2	4	16
		ケガをしたことがあるから	0	4	1	0	2	0	7	28
		笑われたことがあるから	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1	0	0	2	3	12
4	これまでやったことのある技	前転	8	9	10	10	10	17	64	95
		後転	3	9	10	10	9	17	58	86
		開脚前転	3	3	10	10	8	17	54	80
		開脚後転	0	2	9	9	6	17	43	64
		とびこみ前転	0	0	8	9	9	17	43	64
		腕立て側転	9	8	9	6	6	16	54	80
5	今、できる技	前転	3	8	10	9	10	17	57	85
		後転	0	7	10	9	7	16	49	73
		開脚前転	0	2	10	7	7	17	43	64
		開脚後転	0	1	8	6	4	15	34	50
		閉脚前転	0	1	6	2	2	4	15	22
		とびこみ前転	0	0	6	7	10	16	39	58
		腕立て側転	2	7	5	3	5	13	35	52

考察

器械運動は、本校児童の7割の子が好きと答えている。好きな理由として、「できるから」と答えた子が最も多く全体の約6割である。このことから、器械運動には、「できる」ということが楽しい授業へとつながるのではないかと考える。反面、嫌いな理由として「できないから」「難しいから」と8割の子が答えている。

- ・ 跳び箱、マット運動に関してはほとんどの児童が各学年に応じた技がある程度できている。
- ・ 鉄棒運動は、ふだんの遊びの中で鉄棒に触れる遊びが少ないためかできる技が少ないように思われる。また、高学年の児童は、これまで（研究校以前）は固定施設としての鉄棒がなかったため、常時鉄棒に触れる機会が子供たちにはなかった。そのため、学年に応じた技が十分ではない。

8. 授業前と後の器械運動についてのアンケート

(1) マット運動 (4年)

(マット運動)		学年 4年		授業前 5/10	授業後 10/18
		児童数	10 (人数)		
		項 目			
1	マット運動は好きですか。	好き		8	10
		きらい		2	0
2	好きな理由は どうしてです。	できるから		4	3
		ほめられたことがあるから		0	2
		できないけど楽しいから		3	3
		その他		1	2
3	きらいな理由は どうしてですか。	できないから		1	0
		難しいから		0	0
		ケガをしたことがあるから		0	0
		笑われたことがあるから		0	0
		その他		1	0
4	これまでやったことのある技	前転		10	9
		後転		10	10
		開脚前転		9	9
		開脚後転		1	1
		とびこみ前転		9	10
		腕立て側転		6	4
5	今、できる技	前転		9	10
		後転		9	10
		開脚前転		8	9
		開脚後転		6	8
		閉脚前転		2	2
		とびこみ前転		7	10
		腕立て側転		3	3

(2) マット運動 (5年)

(マット運動)		学年 5年		授業前 5/10	授業後 10/18
		児童数	10 (人数)		
		項 目			
1	マット運動は好きですか。	好き		3	6
		きらい		7	4
2	好きな理由は どうしてです。	できるから		1	0
		ほめられたことがあるから		2	0
		できないけど楽しいから		0	0
		その他		0	6
3	きらいな理由は どうしてですか。	できないから		5	1
		難しいから		0	1
		ケガをしたことがあるから		2	0
		笑われたことがあるから		0	0
		その他		0	2
4	これまでやったことのある技	前転		10	10
		後転		9	9
		開脚前転		8	7
		開脚後転		1	7
		とびこみ前転		10	10
		腕立て側転		5	8
5	今、できる技	前転		10	10
		後転		7	9
		開脚前転		7	8
		開脚後転		4	7
		閉脚前転		2	5
		とびこみ前転		10	8
		腕立て側転		5	6

考察

授業前と後では、授業後にその運動を「好き」と答えた児童が増えている。その理由として、「技ができるようになったから」「楽しいから」「ほめられたから」と答えている。このことから、できる技が増えると、その運動に対しての意欲が高まっていることがわかる。

(3) 鉄棒運動(1年)

			授 業 前	授 業 後
			5/10	10/18
			(人数)	
項 目				
1	鉄棒運動 は好きですか。	好き	9	11
		きらい	3	0
2	好きな理由は どうしてです。	できるから	7	8
		ほめられたことがあるから	0	1
		できないけど楽しいから	1	1
		その他	1	1
3	きらいな理由 はどうしてで すか。	できないから	1	0
		難しいから	1	0
		ケガをしたことがあるから	0	0
		笑われたことがあるから	0	0
4	これまでやっ たことのある 技	腕立てとび上がり	7	9
		背上がり	1	4
		逆上がり	4	4
		ひざかけ上がり	6	7
		足ぬき回り	5	8
		だるま回り	2	2
		後方しじ回転	0	0
		前方しじ回転	0	1
		後方ひざかけ回転	0	0
		前方ひざかけ回転	0	3
		前方回転おり	0	8
		後ろおり	0	8
		踏み越しおり	0	4
転向前おり	0	3		
5	今、できる技	腕立てとび上がり	4	11
		背上がり	0	4
		逆上がり	0	9
		ひざかけ上がり	0	4
		足ぬき回り	0	7
		だるま回り	0	1
		後方しじ回転	0	2
		前方しじ回転	0	0
		腕後方ひざかけ回転	0	0
		開前方ひざかけ回転	0	2
		前方回転おり	0	4
		後ろおり	0	6
		踏み越しおり	0	2
転向前おり	0	2		

考察

授業後のアンケートでは、全員が「好き」と答えている。また、技ができるようになり、ほめられる事によって鉄棒への関心が高まっていることがわかった。

IV その他の体力づくり

体育朝会実施計画

1 ねらい

- ・教科外体育の活動として、体育集会活動を通して児童の体力の増進を図るとともに、多様な運動に触れる機会を与える。
- ・技、遊び方等の紹介をすることにより、児童の運動に対する興味関心を喚起する。

2 年間計画

月	活動内容	実施方法及び留意点
4	縄 オリエンテーション	体育朝会の進め方等
5	と 発表会	自分たちで考え、工夫した技を学年毎に発表する。
6	び 長縄	体育委員会で考えた技(8の字・波)を低学年と高学年に別れて実施 ※縄跳びは技の多様性に楽しさがあると考え、よってさまざまな技にふれさせるようにする。
7	短縄	上記のねらいにくわえ、現在の自分の力を確かめる場にする。

9		運動会全体練習	
10	一 輪 車	検定	一輪車カードをもとに、オリエンテーションをかねて学年毎に10~8級に挑戦する。
11		検定	全校児童をプールにして各自の級の場で検定を受ける。
12		検定	"

1	一 輪 車	検定	一輪車カード上級を用意し級の進んだ子への対応をする。
2		検定	"
3		検定	"

3 実施方法

- ・期 日・・・1カ月に1度(第2水曜日)。
- ・企画 運営・・・体育委員会を中心に行う。基本的に児童による企画・運営。
※今年度は前年度の反省に基づき学期ごとに取り組む種目を選定する。
- ・場 所・・・放送施設の関係上、基本的に体育館で行うが、活動内容によって運動場でも実施する。

4 成果と課題

- 体育朝会の実施で児童が縄跳び・一輪車に取り組むきっかけとなった。特に低学年の活動への意欲づけを図ることができた。
- 一輪車カードを朝会の中に取り入れ、目標を明らかにして各自が取り組めるよう配慮した。
 - ・児童用の記録カード(縄跳び)の作成
 - ・掲示用資料及びビデオ資料等(縄跳び、一輪車)の準備

一 輪 車 活 動

1. ねらい

- ①一輪車に乗れた時の自由な喜びを味わわせる。
- ②一輪車に乗ることにより、反射神経や平衡感覚を養わせる。
- ③一輪車に乗ることにより、健康増進や体力づくりに役立たせる。

2. 活動時間

- ・15分、45分の休み時間や放課後
- ・体育の時間
- ・一輪車クラブの時間
- ・体育朝会

3. 活動方法

- ・月、木の休み時間及び放課後は低学年（1、2、3年）が利用。
- ・火、金の休み時間及び放課後は高学年（4、5、6年）が利用。
- ・体育の時間は各学年で対応。
- ・木曜日の6校時一輪車クラブ（4、5、6年）の時間。

4. 活動内容の例

○授業の展開

①時間計画

	1	2	3	4	5
10	は じ め	めあて1			演技 発表
20					
30		めあて2			まとめ
40					

②本時（3／5時）

- ・めあて1・・・できる技の距離を伸ばしたり、2人組・3人組でできるかを挑戦する。
- ・めあて2・・・新しい技に挑戦したり、グループで演技の練習をする。

時間	学 習 活 動	指 導
は じ め 10	1. 用具の準備をする 2. 準備運動をする 3. NHKのビデオ教材を見る	・一輪車の準備（各自） ・記録カードの準備（各自） ・ビデオ機器一式

分	<p>— めあて1 —</p> <p>できる技の距離を伸ばしたり、2人組・3人組でできるかを挑戦する。</p>	
な	<ul style="list-style-type: none"> ・補助つき乗り越え（10級） ・補助なし乗り越え（9級） ・補助つき乗車（8級） ・補助つき前進5m（7級） ・補助なし前進5m（6級） ・補助なし前進10m（5級） ・補助なし前進30m（準4級） ・補助なし前進50m（4級） ・2人組・3人組で手をつないで練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・力の合った者同士をペアにし安全に気をつけさせながら練習させる。 ・特に遅れている子に対しては個人指導をする。 ・出来た級には、合格シールを貼る。
か	<p>— めあて2 —</p> <p>新しい技に挑戦したり、グループで演技の練習をする。</p>	
30分	<ul style="list-style-type: none"> ・補助なし乗車（準3級） ・左右の円周回り（3級） ・8の字走行（準2級） ・90度方向転換（2級） ・60度方向転換（準1） ・8の字ジグザグ走行（1級） ・アイドリング10回（初段） ・ボールドリプル10回（2段） ・2グループに分かれ、演技の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技に挑戦するようにアドバイスする。 ・できる技を使って、どんな演技ができるかを工夫させる。 ・曲に合わせて演技の練習をさせる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・各自今日のめあてが達成できたか。 ・グループで協力してできたか。 ・演技の工夫ができたか。 ・安全に気がつけたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自、グループで今日の反省をさせる。 ・出来た級には、合格シールを貼る。

親子ドッチボール大会実施計画

1. ねらい

- ・親子の絆を深める。
- ・学校職員、父母の連帯意識を深める。

2. 日時

日・・・平成8年1月26日

時・・・午後2時～午後4時

3. 場所

体育館

4. 方針並びに方法

- (1)児童5チーム、PTAチーム2～3チームを編成する。
- (2)児童チームには、監督として先生1～2名を配置する。
- (3)試合終了後は、ジュースとパンを食する。
- (4)試合方法は、トーナメント制とする。(別紙参照)
- (5)コートは2コート作成し、どのチームも最低2試合できるようにする。
- (6)1試合1セットとし、制限時間は10分とする。
(制限時間内で勝敗が決まらないときは、その時点での生き残り人数で決める)
- (7)ボールは布製を採用し、投げ方は制限しない。

5. ルール

- ・1チーム15名とする。
- ・各コートに主審、副審(計時を兼ねる)を配置する。(体育部が中心になる。)
- ・最初はコート外に3人、コート内に12人で始める。
(味方が当てられたら、最初外にいた人は中にはいる。)
- ・膝から下、首から上に当てた場合は無効とする。
- ・ジャンプボールで試合を始める。
- ・制限時間内に全員を当てたチームが勝ちとする。
(制限時間内で勝敗が決まらないときは、その時点での生き残り人数で決める)

6. 開会・閉会式について

司会・・・(漢那先生)

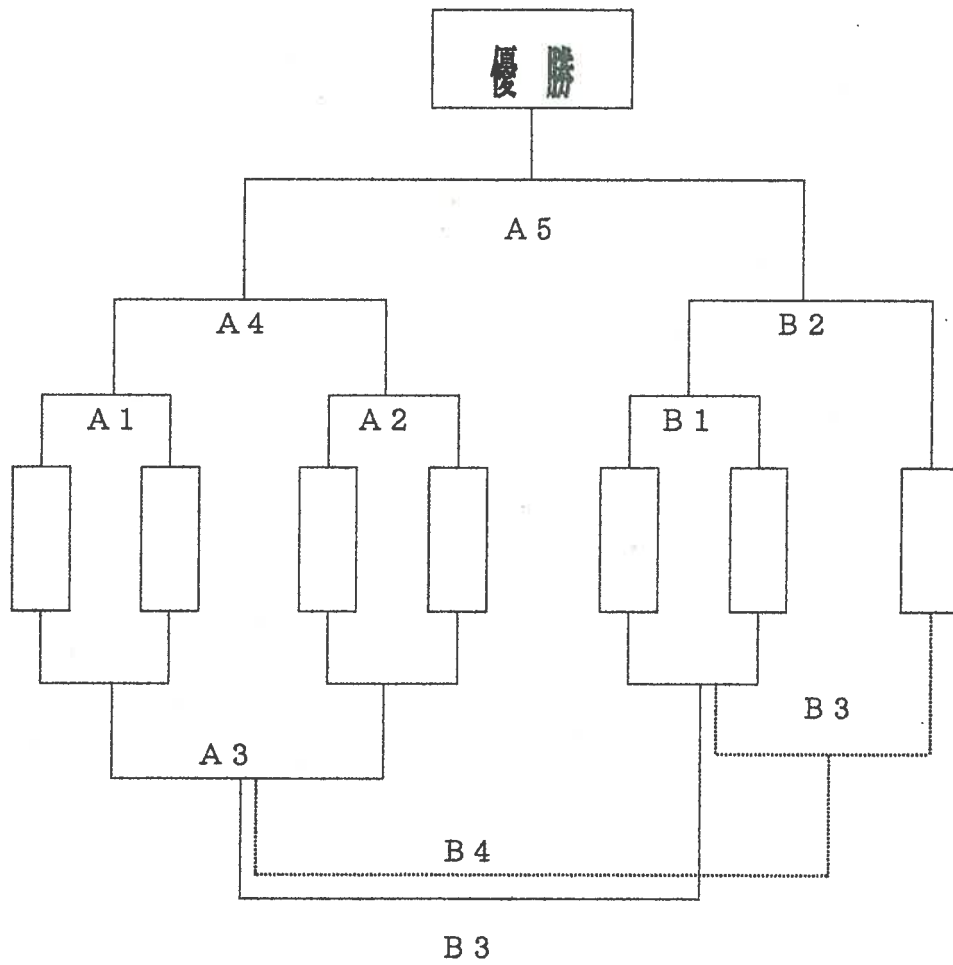
開会式

- 開会宣言・・・(PTA副会長)
- 大会長挨拶・・・(PTA会長)
- 各チームアピール・・・(代表)
- 審判長諸注意・・・(座間味)

閉会式

- 成績発表・・・(PTA体育部長)
- 感想発表・・・(各チーム代表)
- 学校長挨拶
- 閉会宣言・・・(教頭先生)

7. トーナメント表



- ※A 1とはAコートでの1試合目
- ※B 1とはBコートでの1試合目
- ※対戦相手は当日決めます

校内持久走実施計画

平成8年2月28日

1. ねらい

- (1) 本校教育目標「自ら考え心豊かでたくましく行動する子」をもとに、具体的目標「健康安全に気をつける子」「粘り強く、最後までやり抜く子」「自ら運動に親しみ、体を鍛える子」の育成を目指して行う。
- (2) 持久走を通して、強い心身を培い、走ることの楽しさを味わわせる。
- (3) 持久走を通して、身体の発育発達や体力の向上を図る
- (4) 自分の調子を守って、最後まで完走できるようにする。

2. 日時

平成8年 3月2日(土) 午前10:20~12:00
 ※時数配当 (学校行事2)

3. 場所

学校周囲の道路(別紙資料参照)

4. 参加者

全児童

5. 競技方法

- (1) 距離とコース(別紙資料参照)
 1. 2年 (800m) ひるぎ (200m)
 3. 4年 (1000m)
 5. 6年 (1500m)
- (2) スタート, ゴールは全学年同位置(校門)とする。
- (3) 出発の順は, 低学年, 中学年, 高学年の順に行う。(日程参照)
- (4) 日程

1. 健康確認		
2. 開会式……………10:20~10:30 司会(漢那)		
(1)校長先生の言葉		
(2)審判長注意(新城)・・・軽く準備体操を入れる		
3. 準備体操(各自)		
4. 記録準備、監察配置……………10:30~10:40		
5. 競技開始……………10:40		
時間とスタート順		
学年	予 定 時 間	所 要 予 定 時 間
1・2年	10:40 ~ 10:50	10分
3・4年	10:55 ~ 11:10	15分
5・6年	11:15 ~ 11:35	20分
1. 記録整理……………11:35~11:45		
2. 閉会式……………11:45~12:00 司会(漢那)		
(1)記録賞授与(各学年の代表が受け取る)		
(2)校長先生の言葉		

- (5) 全員に記録証を発行し, 表彰する。なお, 6年生まで持ち上がりできる記録用紙を作成し次年度へ引き継ぐ。

6. 留意事項

- (1) 最善をつくし、自分の力にあわせて、最後まで走れるように指導する。
- (2) 健康観察で、当日気分がすぐれないものは走らせない。
- (3) 走りおえた後、呼吸調整、汗の拭き取り、うがいなどをするよう指導する。
- (4) 授業時数は（学校行事2）として扱う。
- (5) 当日までに体育の時間を利用し、何回か試走させておく。
- (6) 許可証を前日父母に渡し、当日回収する。
- (7) 雨天（競技不可能）の時は延期し、3/4(月)の3.4校時に行なう。
- (8) 着替えやタオルの準備をさせる。
- (9) 競技前や競技後は各学年の控え場所で待機，応援する。
- (10) コースは車道左を走る。車道使用の許可申請し駐在に協力を得る。

《許可証例》

《各学年の控え場所》

健康観察カード(許可証)	
上原小 年 名前	
項目	
体温	
朝食	
体調	
参加の可否	
見学理由	
保護者印	

保護者殿

- ・朝の体温と見学理由以外は○か×で記入
- ・持久走当日に記入担任へ提出
- ・カード忘れ，記入もれのないよう

グラウンドピロティー側

7. 各係

係名	担当者	仕事内容	準備するもの・その他
大会長	校長	全体の統括，出発	
連絡・渉外	教頭	父母への協力・お礼の文書発送など 駐在との連絡	
審判	座間味	順位の判定。 順位番号札を到着順に配布。(男女関係なく)	順位番号札 1番～31番
記録	後藤 池村	各児童の記録記入。 到着順位の記録。	記録用紙 ペン
時計・出発	新城	スタートの合図は校長先生に依頼	ストップウォッチ・シグナル・紙笛
浄書	平地 津嘉山	全児童の記録 順位の記入	完走賞用紙
決勝	父母 (保体部)		決勝テープ
監察	漢那 新崎 学年担任 父母	児童の安全確認。 道路の安全確認。 車両の誘導。	各折り返し地点に 配置。通過のチェックも行う。 紅白旗
救護	長井	児童の救護	救急薬品・許可証の用意

※事前に各学級担任で完走証に名前を記入しておき浄書の係に渡す。

資料

①記録用紙記入例(児童名せん利用)

番号 名前 順位 タイム

1	仲里 修司	4	10" 15						
2	砂川 仁	9	12" 45						
3	玉盛 大輔	1	9" 28						
13	池村 由香利	3	10" 10						
14	新城 麻衣子	7	11" 34						

②記録の流れ

1. 児童は審判より自分の順位カードを受け取る
2. 記録係はカードをもとに記録用紙に順位を記入する(次の学年の競技中に時計係から受け取ったタイムを記録用紙に記入)
3. 記入された記録用紙を元に浄書の係は記録証に順位とタイムを記入する。
4. 学年毎にまとめ閉会式で大会長に渡す。

③記録証(原本校長先生依頼)

④個人記録用紙

じきう そ こ ん き ろ く よ り し

持久走個人記録用紙 名前()

学年	距離	時間	担任印
1	800m	分 秒	
2	800m	分 秒	
3	1000m	分 秒	
4	1000m	分 秒	
5	1500m	分 秒	
6	1500m	分 秒	

⑤ コース地図及び監察位置

V 研究の成果と課題

平成6・7・8年度の3年間、県教育委員会、竹富町教育委員会より「体力づくり推進校」の指定を受け「自ら進んで、運動に親しむ上原っ子の育成」をテーマに、1年次は「器械運動」を中心に、2年次は「ボール運動」を中心に取り組んできた。3年次は全職員協力のもと、2カ年の研究の課題として上げられた「個に応じた学習の場の設定」、「教具の確保」、「学習カードの工夫」、「運動用具の充実」等の解決を図りつつ、再び「器械運動」を中心に授業実践を通して研究を進めてきた。

3カ年の研究は充実したものであったし、大きな成果を上げることが出来た。しかし、数多くの課題も出てきた。そこで、主な研究成果と課題を以下に記すことにする。

1. 成 果

- (1) 研究を進めるにあたって、全職員の共通理解を図ることができ、「体力づくり」を進めることが出来た。
- (1) 「新しい体育」の理論・実践研究を数多く持つことができ、授業の流れや場の工夫等を図ることができた。
- (2) 場の工夫をすることによって、どの子も喜んでボール運動、器械運動に参加するようになった。
- (3) 室内ゴールの製作により、雨天時でもサッカー遊びができるようになった。
- (4) 一輪車を多数購入したことによって全児童が一輪車遊びに興味を持ち、それぞれの目標に向かって練習に励むようになった。
- (5) 全学年が利用できるチェックカード（器械運動）を作り、活用することができた。

2. 課 題

- (1) 「体力づくり」に必要な環境整備を図ること。
- (2) 学習カード、学習資料を学年毎、領域毎に整理をすること。
- (3) 実技研修、理論研究、環境整備を図ること。
- (4) これまでの研究成果の継続実践を進めること。
- (5) より使い易い学習カードの工夫を図ること。

研究同人

平成6年度

校長	喜納和善	前盛民子	宮里慶子
教頭	田真安浩	西原直美	仲間清邦
研究主任	漢那憲吉	中野美由紀	花原厚子
	森永梢子	座間味靖	渡久山房長
	平地綾子	石垣佐和子	新崎長
	津嘉山和美	上元恭子	

平成7年度

校長	喜納和善	池村久美	花原厚子
教頭	田真安浩	与世平進	渡久山房長
研究主任	漢那憲吉	新城剛靖	新崎長
	後藤恵美子	座間味靖	
	平地綾子	長井直子	
	津嘉山和美	仲間清邦	

平成8年度

校長	喜納和善	池村久美	向井洋美
教頭	天願敏男	与世平進	花原厚子
研究主任	漢那憲吉	新城剛靖	渡久山房長
	後藤恵美子	座間味靖	新崎長
	平地綾子	喜舎場美也子	
	津嘉山和美	長井直子	

参考文献

- 『小学校体育資料・指導計画の作成と学習指導』 文部省
- 『小学校・新しい体育の考え方・進め方』 宇土正彦
- 『小学校体育指導書』 文部省
- 『体力づくり読本』 教育開発研究所
- 『新しい学力観に立つ教育課程の創造と展開』 文部省
- 『運動能力テスト・スポーツテストハンドブック』 青山昌二
- 『体育の学習・指導書』 宇土正彦
- 『月間 学校体育』 日本体育社
- 『新しい学力観に立つ体育科の授業の工夫』 文部省

資 料

1. 年間計画

2. 学習カード

(1) ボール運動

(2) 器械運動

(3) 一輪車カード

1. 年間計画

1学期 体育年間指導計画 (1年)

1学期

月	4月⑥							5月⑩							6月⑭							7月⑰													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
時																																			
内 容	運動場の遊び①							ダンス							ボール遊び(関)							かけっこ・リレー							障害リレー						
内 容	運動場の遊び②							輪を使った運動 ボールを使って 短なわ、長なわ							ドッジボール(主)							水遊び④							高跳び						
行事	身体測定																																		

2学期

月	9月⑩							10月⑭							11月⑰							12月⑳																		
	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
時																																								
内 容	ダンス							輪を使った運動 ボールを使って 短なわ、長なわ							ドッジボール(主)							マット遊び(主)							ボール遊び(関)											
内 容	⑦ 平均台 固定施設の運動のぼり棒 雲梯							⑧ 鬼遊び							⑧ 力だめし(関)							⑧ 縄跳び遊び(関)							⑩ サッカー遊び(主)											
行事																																								

3学期

月	1月⑤							2月⑩							3月⑤																				
	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	ま と め								
時																																			
内 容	リズムダンス							サッカー遊び⑧							跳び箱遊び							平均台遊び							ま と め 一輪車						
内 容	⑦ 横跳び							⑧							⑧							⑧													
行事																																			

体育年間指導計画（2年）

1学期

月	4月⑨							5月⑩							6月⑪							7月⑫																																																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38																																
内 10分	ドッジボール(主)																												運動能力テスト②							鉄棒遊び⑧							かけっこ・リレー(主)							幅とび遊び(主)																				
容 30分	ボール遊び(副)																												④							ボール遊び⑨							力だめし・鬼遊び(副)							水遊び④							⑤							ゴム跳び(副)						
行事	身体測定																																																																					

2学期

月	9月⑬							10月⑭							11月⑮							12月⑯																																									
	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79																						
内 10分	リズムダンス																												ボールけりゲーム(主)							ドッジボール⑨							マット遊び(主)							サッカー遊び⑩													
容 30分	かけっこ・リレー																												⑨							ボール遊び(副)							③							縄跳び(副)													
行事	運動会 身体測定																												集合学習																																		

3学期

月	1月⑰							2月⑱							3月⑲																																									
	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105																														
内 10分	かけ足																												ダンス							サッカー遊び⑥							跳び箱遊び⑥							まとめ①						
容 30分	⑤																												⑥							橋遊び							②							①						
行事	学習発表会																																																							

体育年間指導計画（3年）

1学期

月	4月⑨							5月⑩							6月⑪							7月⑦															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
10分以内	ボートボール(主)																																				
30分以内	①																																				
30分以内	②																																				
30分以内	③																																				
30分以内	④																																				
30分以内	⑤																																				
30分以内	⑥																																				
30分以内	⑦																																				
30分以内	⑧																																				
30分以内	⑨																																				
30分以内	⑩																																				
30分以内	⑪																																				
30分以内	⑫																																				
30分以内	⑬																																				
30分以内	⑭																																				
30分以内	⑮																																				
30分以内	⑯																																				
30分以内	⑰																																				
30分以内	⑱																																				
30分以内	⑲																																				
30分以内	⑳																																				
30分以内	㉑																																				
30分以内	㉒																																				
30分以内	㉓																																				
30分以内	㉔																																				
30分以内	㉕																																				
30分以内	㉖																																				
30分以内	㉗																																				
30分以内	㉘																																				
30分以内	㉙																																				
30分以内	㉚																																				
30分以内	㉛																																				
30分以内	㉜																																				
30分以内	㉝																																				
30分以内	㉞																																				
30分以内	㉟																																				
30分以内	㊱																																				
30分以内	㊲																																				
30分以内	㊳																																				
30分以内	㊴																																				
30分以内	㊵																																				
30分以内	㊶																																				
30分以内	㊷																																				
30分以内	㊸																																				
30分以内	㊹																																				
30分以内	㊺																																				
30分以内	㊻																																				
30分以内	㊼																																				
30分以内	㊽																																				
30分以内	㊾																																				
30分以内	㊿																																				
30分以内	身体測定																																				

2学期

月	9月⑩							10月⑪							11月⑫							12月⑬																		
	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
10分以内	ダンス⑦																																							
10分以内	リレー②																																							
10分以内	ハンドベースボール⑧																																							
10分以内	鉄棒⑨																																							
10分以内	縄とび⑩																																							
10分以内	サッカー⑪																																							
10分以内	障害走⑫																																							
10分以内	持久走⑬																																							
30分以内	⑭																																							
30分以内	⑮																																							
30分以内	⑯																																							
30分以内	⑰																																							
30分以内	⑱																																							
30分以内	⑲																																							
30分以内	⑳																																							
30分以内	㉑																																							
30分以内	㉒																																							
30分以内	㉓																																							
30分以内	㉔																																							
30分以内	㉕																																							
30分以内	㉖																																							
30分以内	㉗																																							
30分以内	㉘																																							
30分以内	㉙																																							
30分以内	㉚																																							
30分以内	㉛																																							
30分以内	㉜																																							
30分以内	㉝																																							
30分以内	㉞																																							
30分以内	㉟																																							
30分以内	㊱																																							
30分以内	㊲																																							
30分以内	㊳																																							
30分以内	㊴																																							
30分以内	㊵																																							
30分以内	㊶																																							
30分以内	㊷																																							
30分以内	㊸																																							
30分以内	㊹																																							
30分以内	㊺																																							
30分以内	㊻																																							
30分以内	㊼																																							
30分以内	㊽																																							
30分以内	㊾																																							
30分以内	㊿																																							
30分以内	身体測定																																							

3学期

月	1月⑭							2月⑮							3月⑯																				
	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105									
10分以内	走り巾とび																																		
10分以内	⑰																																		
10分以内	フォークダンス⑮																																		
10分以内	輪遊び																																		
10分以内	平均台																																		
10分以内	棒遊び																																		
30分以内	マット運動⑯																																		
30分以内	⑱																																		
30分以内	かけ足・リレー																																		
30分以内	⑲																																		
30分以内	⑳																																		
30分以内	㉑																																		
30分以内	㉒																																		
30分以内	㉓																																		
30分以内	㉔																																		
30分以内	㉕																																		
30分以内	㉖																																		
30分以内	㉗																																		
30分以内	㉘																																		
30分以内	㉙																																		
30分以内	㉚																																		
30分以内	㉛																																		
30分以内	㉜																																		
30分以内	㉝																																		
30分以内	㉞																																		
30分以内	㉟																																		
30分以内	㊱																																		
30分以内	㊲																																		
30分以内	㊳																																		
30分以内	㊴																																		
30分以内	㊵																																		
30分以内	㊶																																		
30分以内	㊷																																		
30分以内	㊸																																		
30分以内	㊹																																		
30分以内	㊺																																		
30分以内	㊻																																		
30分以内	㊼																																		
30分以内	㊽																																		
30分以内	㊾																																		
30分以内	㊿																																		
30分以内	身体測定																																		

体育年間指導計画（4年）

1学期

月	4月⑨							5月⑩							6月⑪							7月⑫																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38				
内 10分	集団 サーキット ①																																									
内 30分	ポートボール⑧							運動 能力 テスト ②							マット運動⑧							かけっこ・リレー(主) ⑨							水泳④							縄とび⑤ 一輪車						
行 事	身体測定																																									

2学期

月	9月⑬							10月⑭							11月⑮							12月⑯																		
	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
内 10分	ダンス⑦																																							
内 30分	リレー ②							ハンドベースボール⑧							走り高飛び⑥							跳び箱⑤							バスケット④											
行 事	運動会 身体測定 集合学習																																							

3学期

月	1月⑰							2月⑱							3月⑲																				
	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105									
内 10分	障害走																																		
内 30分	持久走 ⑨							サッカー⑧							鉄棒③							まとめ①													
行 事	身体測定 学習発表会																																		

体育年間学習計画 (5年)

1学期

月 時	4月⑨							5月⑩							6月⑪							7月⑫																																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38																		
10分-判別																																																								
30分-①	リレー・短距離走⑥							運動能力テスト②							保健①							バスケットボール⑩							鉄棒⑤							水泳④							保健②							体操③						
行事	身体測定														宿泊学習																																									

2学期

月 時	9月⑬							10月⑭							11月⑮							12月⑯																																		
	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79															
10分																																																								
30分-①	保健表現④							障害走⑥							保健②							ソフトボール⑭							マット運動⑨							走り高跳び⑥							保健②							持久走③						
行事	身体測定 運動会														集合学習																																									

3学期

月 時	1月⑰							2月⑱							3月⑲																											
	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105																
10分																																										
30分	サッカー⑮							走り幅跳び⑮							飛び箱運動⑦							保健②							一輪車②							まとめ①						
行事	身体測定														学習発表会																											

体育年間指導計画（6年）

1学期

月時	4月⑤							5月⑩							6月⑫							7月⑦																											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38											
内 10分																																																	
容 30分	リレー・短距離走⑥							運動能力テスト②							バスケットボール⑩							鉄棒⑥							水泳④							保健②							体操③						
行事	身体測定																																																

2学期

月時	9月⑩							10月⑩							11月⑩							12月④																																		
	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79															
内 10分																																																								
容 30分	保健表現④							障害走⑥							保健②							ソフトボール⑩							マット運動⑨							走り高跳び⑤							保健②							持久走③						
行事	身体測定 運動会																																																							
	集合学習																																																							
	修学旅行																																																							

3学期

月時	1月⑤							2月⑩							3月⑥																											
	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105																
内 10分																																										
容 30分	サッカー③							走り幅跳び⑤							跳び箱運動⑦							保健②							一輪車②							まとめ①						
行事	学習発表会																																									

2. 学習カード

(1) ボール運動

~~バスケットボール~~ 学習カード (リーグ戦)

() 時間目	月	日	曜日	校時
チーム名				
チームのめあて				

作戦 (1)

○

メンバー	前	後	係	
	半	半	前半	後半

対戦チーム () と () 対 () で **勝・負・分**

◎自分達のチームの反省

全員にボールが (回った・回らない)
パスが (つながる・つながらない)
作戦が成功した (◎・○・△)
攻め (速い・おそい・もう少し)
守り (速い・おそい・もう少し)
ドリブルが繋がった (◎・○・△)
シュートが (多い・少ない・まあまあ)
その他

◎相手チームの力

中心になっている人 ()
攻撃の様子 (パス・ドリブル) (速攻・おそい)
よくシュートする人 ()
パスが (つながる・つながらない)
攻め (速い・おそい・もう少し)
守備の様子 (全員で・一部の人で) (マークしている・していない)
シュートが (多い・少ない・まあまあ)
その他

学 習 カ ー ド

学習のねらい

みんなでルールや攻め方、守り方を工夫してハンドベースボールを楽しむ。

○ ねらい1

ルールやチームの仲間になれ、協力してハンドベースボールを楽しむ。

ねらい2

攻め方や守り方、ボール扱いを工夫してゲームをする。

チーム名		メンバーの名前				
チームのめあて						

◎たいへんよくできた。 ○だいたいよかった。 △よくなかった。 ?わるかった。

作戦(1)

○

メンバー	前半	後半	係	
			前半	後半

対戦チーム()と()対()で **勝・負・分**

◎自分達のチームの反省

全員にボールが(回った・回らない)
パスが(つながる・つながらない)
作戦が成功した(◎・○・△)
攻め(速い・おそい・もう少し)
守り(速い・おそい・もう少し)
ドリブルが繋がった(◎・○・△)
シュートが(多い・少ない・まあまあ)
その他

◎相手チームの力

中心になっている人()
攻撃の様子(パス・ドリブル) (速攻・おそい)
よくシュートする人()
パスが(つながる・つながらない)
攻め(速い・おそい・もう少し)
守備の様子(全員で・一部の人で) (マークしている・していない)
シュートが(多い・少ない・まあまあ)
その他

チームとして良かった・工夫した点	
残された問題点	

〈資料〉
学習カード

①教師用（観察記録） よくできた◎ ふつう○ できない×

月 日		力いっぱい楽しくで きたか	ボール扱いが上手に できたか	決まりを守って仲良 くできたか	準備や片付けがきち んとできたか
	グループ	◎	○	×	○
A					
B					
C					
D					

②学習カード（グループ） よくできた◎ ふつう○ できない△

月 日 () グループ記録者 ()		A	B	C	D
今日の めあて		じぶんの めあて			
き ま り	力いっぱい楽しくできた。				
	ルールやマナーをまもって、なかよくできた。				
	じゅんぴや、あとかたづけがきちんとできた。				
わ ざ	ボールから目をはなさないで、けることができた。				
	ボールをうまくとめることができた。				
	力いっぱいけることができた。				
次の めあて					

資料(教師用)

授業記録 月 日() 校時 / 12

ネオ		めあて		ブラ		めあて			
評価項目			チーム			教師			
自分たちの力にあったルールでゲームができたか					自分たちの力にあったルールでゲームができたか				
作戦は自分のチームに合っていたか					作戦は自分のチームに合っていたか				
作戦成功のための話し合い・練習はできたか					作戦成功のための話し合い・練習はできたか				
作戦練習のための資料は活用できたか					作戦練習のための資料は活用できたか				
マナーを守りチームは高まったか					マナーを守りチームは高まったか				
反省				反省					

修		めあて		タロ		めあて			
評価項目			チーム			教師			
自分たちの力にあったルールでゲームができたか					自分たちの力にあったルールでゲームができたか				
作戦は自分のチームに合っていたか					作戦は自分のチームに合っていたか				
作戦成功のための話し合い・練習はできたか					作戦成功のための話し合い・練習はできたか				
作戦練習のための資料は活用できたか					作戦練習のための資料は活用できたか				
マナーを守りチームは高まったか					マナーを守りチームは高まったか				
反省				反省					

資料リーグ戦

めあて表

◎の児童は特別ルールの採用

チーム名	チームのめあて	名前	個人のめあて	反省	思いのめあて	関心協力	思安全	技能ルール	技能技
赤									

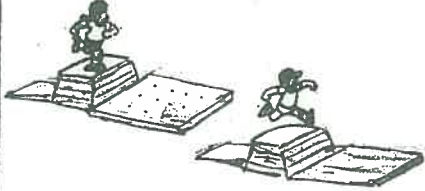



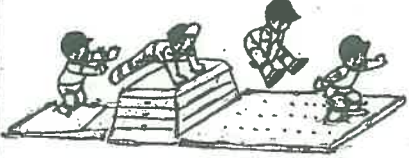
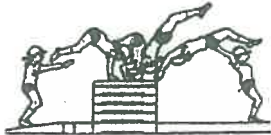
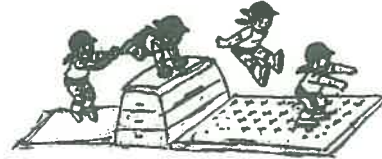
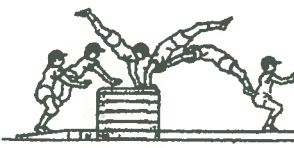

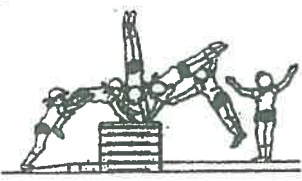
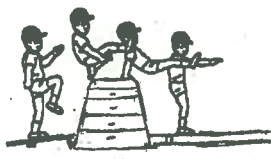

緑									

黄 ブラ ック サ タ ー ン Jr									

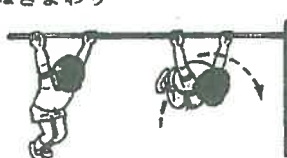
青 う ま ち い や ぞ ん ち し ゅ む ト が									

(2) 器械運動




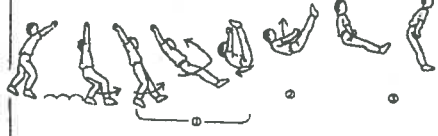
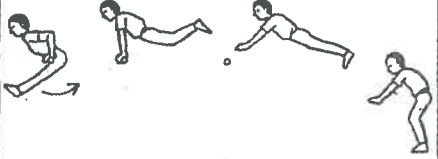



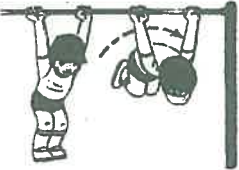
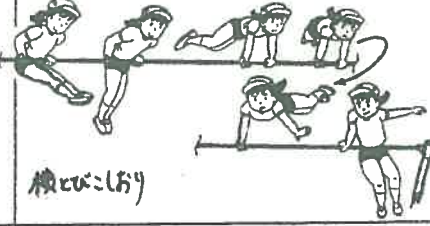
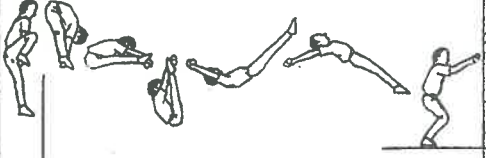
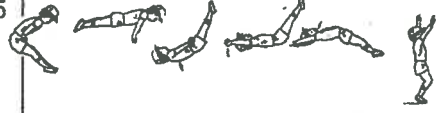
跳び箱運動 技のチェックカード

年	技の名前	技のできばえ	評価	技の名前	技のできばえ	評価
一 年	あしこし・まどこし 	できる	四・五年	けいここび 	できる	何 段
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
一 ・ 二 年	うで立てびねり・お 	できる	五・六年	下組とび 	できる	何 段
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
一 ・ 二 ・ 三 年	かきやくとび 	できる	五・六年	飛込とび 	できる	何 段
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
一 ・ 二 ・ 三 年	へいせやくとび 	できる	五・六年	前方とうり組とび 	できる	何 段
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
二 ・ 三 年	ぶとび 	できる	五・六年	前方とうり組とび 	できる	何 段
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三 ・ 四 年	おおびとび 	できる			できる	何 段
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三 ・ 四 年	合上げんてん 	できる			できる	何 段
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	



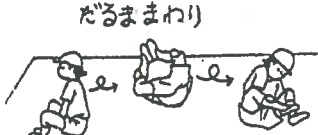


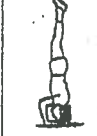
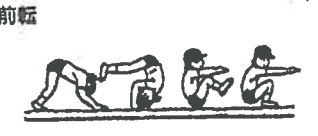

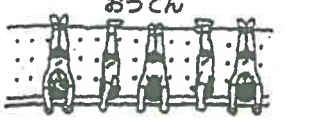

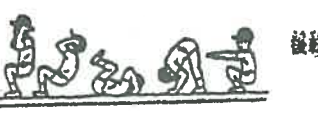




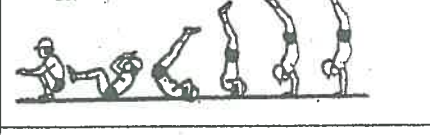
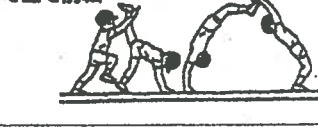
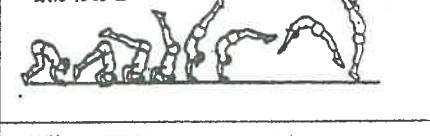

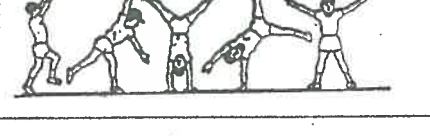

鉄棒運動技のチェックカード

学年	技の名前	技のできばえ	評価	学年	技の名前	技のできばえ	評価
1	ぶらんこ じゅんて 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		1	こうもりふり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
1	おさるさん かたさかて 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		1	まえまわりおり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
1	ちきゅうまわり こうさかせて 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		1	さかあがり さかて 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
1	ふとんさがり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		2	せあがり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
1	つばめさん 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		2	ひざかけあがり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
1	ひざかけふり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		2	ひざかけ後ろ回り (後方ひざかけ回転) 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
1	 (うでたて) とびあがり・とびおり	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		3	うで立て後ろ回り (後方しじ回転) 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
1	あしぬきまわり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		3	だるま回り 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	

鉄棒運動技のチェックカード

学年	技の名前	技のできばえ	評価	学年	技の名前	技のできばえ	評価
3	ひさかけ前回り 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		5	前方もむかけ回転 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
3	うで立て前回り (前方しじ回転) 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		5	けあがり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
3	後ろとび 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		5	ともえ 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
3	ふみこしおり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		5	転向前おり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
3	足ぬき前まわり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		5	横びこしり 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
3	ひとうきとび 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し		5	ふりとび 	できる 連続でできる 上手にできる もう少し	
3		できる 連続でできる 上手にできる もう少し					

マット運動 技のチェックカード

年	技の名前	技のできばえ	評価	技の名前	技のできばえ	評価
一年	ゆりかじ 	できる	四年	開せやく前転 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
一・二年	だるままわり 	できる	四年	開せやく後転 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
一・二年	前転 	できる	四年	頭とう立 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
二・三年	前転 	できる	四年	かた足氷平立ち 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三年	おうてん 	できる	五・六年	首とう立 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三年	後転 	できる	五・六年	しんしつ前転 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三年	とう立前転 	できる	五・六年	しんしつ後転 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三年	とび前転 	できる	五・六年	後転とう立 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三年	うて立て前転 	できる	五・六年	頭はねおき 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三年	うて立てそく転 	できる	五・六年	輪とう立回転 	できる	
		連続でできる			連続でできる	
		上手にできる			上手にできる	
		もうすこし			もうすこし	
三年			五・六年	前方とう立回転 	できる	
					連続でできる	
					上手にできる	
					もうすこし	

マッド運動学習カード 5年

自分の様子	めあてに向かった練習したか	めあては自分の力にあっていたか	めあてに合った練習の工夫ができたか	友達に教えたり励ましたり協力しあえたか	安全に気をつけて運動できたか	友達と協力して準備や後片づけができたか	今日の学習を終えてどんな気持ちか
	何回も練習した	めあてをわけていた	やさしすぎた	よくできた	十分に気をつけた	できなかった	もうしだくない
1	何回も練習した	めあてをわけていた	やさしすぎた	よくできた	十分に気をつけた	できなかった	もうしだくない
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							

単元のめあて

★自分の様子に合うものに○をつける。

今日の感想

単元まよめの感想

マッド運動を、今後、どこで生かせばよいか

マッド運動が上手になった技

めあてとなる技

① 基本 	② 前転
③ とび前転 	④ 前転やく前転
⑤ とう立前転 	⑥ しんじつ前転
⑦ 基本 	⑧ 前転やく後転

⑨ しんじつ後転 	⑩ 後転とう立
⑪ 前芳とう立回転 	⑫ 前はね後転
⑬ 前芳とう立回転 	⑭ 西とう立
⑮ とう立 	⑯ その他 ロングボード

工夫した練習の場 (マット)

① 坂のマット

② とび障と安全マット

③ ゴムを置いたマット

④ へんがりのマット

☆めあてや練習の場は、番号や記号で記入する。(「場」は○の中に)
 ☆よくできたら◎できたら△を□に記入する。

月・日	めあて	あて	連続	技	めあて	あて	連続	技

提示資料 5年

マット運動	
第1時	オリエンテーション
第2時	技の確認
第3時～8時	めあてに向かって練習
第9時	発表会・まとめ

学習のきまり
・けがをしないように気をつけて学習を進める。(ふざけないで)
・わからない人(できない人)にアドバイスを。
・進んで用具を準備したり、片づけたりする。
・かっとな行動はしない。
・協力しあってやる。
・話を聞く。

めあてとなる技

場の工夫

学習の進め方(3～8時)
1. マットの準備
2. 準備運動
3. めあて1の場づくり
4. めあて1の確認
5. 練習
6. めあて2の場づくり
7. めあて2の確認
8. 練習
9. 反省(学習カードに記入)
10. 次時のめあてを決める。
11. あと片づけ

グループ
1. 優華・麻里菜・亮・文子
2. 理沙・みほ・朝政
3. 恵・未来・大二郎

めあて1→できる技をより美しく見せ また、連続や組み合わせに 挑戦する。
--

めあて2→できるようになりたい技に 挑戦する。

みんなのめあて

(3) 一輪車カード

学年()
一輪車記録カード

級	内 容	課 定	
		1回目	2回目
10	補助つき乗り越え		
9	補助なし乗り越え		
8	補助つき乗車		
7	補助つき前進5m		
6	補助なし前進5m		
5	補助なし前進10m		
準4	補助なし前進30m		
4	補助なし前進50m		
準3	補助なし乗車		
3	左右の円周回り(5m)		
準2	8の字走(直径3m)		
2	90度方向転換		
準1	60度方向転換		
1	8の字ジグザグ走行		
初段	アイドリング10回		
2段	ボーールドリブル10回		

*課定は自分より上手な友達に見てもらい、○をつけてもらいましょう
2回の課定で合格です。

学年()
一輪車記録カード 上級

級	内 容	課 定	
		1回目	2回目
10	かた足アイドリング		
9	バック直進		
8	かた足走行		
7	横乗り乗車		
6	けり上げ乗車		
5	連続スピン(3回転)		
4	連続スピン(10回転)		
3	8の字かた足走行		
2	8の字バック		
1	技を連続して行う		

*課定は自分より上手な友達か、先生に見てもらい、○をつけてもらいましょう。
2回の課定で合格です。
*技の説明は先生にしてもらうか、ビデオを見せてもらいましょう。